京城日報
十七日夕刊

露國政變

▲内閣員全部要塞監禁

哈爾賓發十六日午後十時某所への著電によれば數日前より露都に大政變あり議會と軍隊と共同して内閣員全部を冬宮の後方なるペトロパウロスク要塞に監禁し新内閣は全部議員にて組織せり露國民は官僚政治の沒落なりと狂喜し居れり

▲露國皇帝退位公報

露都來電＝公報に曰く露國皇帝は退位せり(倫敦電報)

▲攝政はミハイロ大公

露國公報に曰くミハイロ、アレキサンドロウ井ツチ大公は攝政に任ぜられたり(倫敦電報)

▲新内閣組織
二萬の兵にて議會を護衛す

當地其筋に達せし有力なる電報に依れば露國現内閣は全部顛覆し國民議會中堅となり左の通り新内閣組織されたり

總理大臣兼内務大臣	侯爵 ルーオプ氏
陸軍大臣臨時兼任 海軍大臣	グチコフ氏
外務大臣	ミリウコフ氏
交通大臣	ヌカソフ氏
司法大臣	ケンレスキー氏
農務大臣	レンガリク氏
商工大臣	コノワロク氏
文部大臣	マニイロフ氏
大藏大臣	テンステセンコ氏
會計檢査院長	ゴゼネフ氏

前閣員と獨逸系の官僚は皆拘禁せられキリル、ウラジミル、ウ井ッチ殿下は二萬の兵を以て議會を護衛しニコライウ井ッチ大公殿下は大本營にて畫策に膺り居らる(哈爾賓電報)

▲革命とニコライ大公

倫敦特電によれば革命騷擾の結果露帝ニコラス陛下退位し皇太子即位せられたり多分新帝幼少につきミハイロアレキサンドロウ井ッチ大公攝政たるべしとの説あり首相ゴリッチン氏及び内相は革命軍の爲捕縛拘禁せられ親獨派は一掃せられたり首相の後任はリボーフ氏なるべく革命の首謀者はニコライ大公にして下院議長ロヂヤンコ氏の幕僚及び軍隊等は革命軍に參加應援せり騷亂は十一日以來三日間に亙り主なる官衙及び市民の住居にして兵火にかゝりしもの多數なるも市内の秩序は漸次恢復せられつゝあり(紐育電報)

▲革命政變の首謀者

ミハイロ、ウラヂミル大公は二萬の軍隊を率ゐる衛戍司令官として露國議院の周圍を警備しニコライ大公は大本營に於て上奏せり此革命はニコライ大公首謀者として行はれ下院議長により具體的に斷行されたるものなり(紐育特電)

▲軍隊にて治安を維持

ベルン來電＝露國議會は内閣員全部を監禁し現内閣は最早存在せざる旨發表せり露都の治安は議會の行動に贊成せる軍隊の手に依りて維持せらる(紐育電報)

▲露國の態度强硬

這回の革命は親獨派の撲滅に出でたる手段なり露國の戰爭に對する態度益々强硬たらんとす(紐育電報)

露國新皇帝陛下

●嗚呼大露西亞
大革命の動亂は實に斯の如くして來れり＝勃發に非ずして久しき以前より
―最近歸國某露國通名士談

這回露國の大革命動亂は愈々事實となれば實に由々しき大事である、這は獨り我が友邦露西亞にとりてのみならず我が日本にも英佛等の協商國側にとつても實に容易ならぬ大問題である。これに關し某露國通名士の談に曰く『這回の大革命騷ぎは勃發に非ずして既に久しき以前より其の前兆が見えてゐたのである、現に二月二十七日露都を出發した人のはなしに依るもペトログラードが市街到る處の交通機關が杜絶すると云ふ事は既にその頃から噂されて居た、併し一切の馬車、鐵道、電燈、水道等が休止する事は一の風聲鶴唳であらうと思はれて居たけれども既に掃ふべからざる妖雲はペトログラードの空を暗澹として垂れかゝつて居たのである、果せる哉、遂に革命は來た、しかも露都三萬の軍隊が加盟したとあつては容易ならぬ一大事と云はねばならぬ、由來

▲露西亞の革命

は軍隊の力を待たねば成功したゝめしがない、從來とても不穩な騷ぎは屢々露都で行はれた―其多くは職工のストライキにかこつけしもの或は全露都市同盟會員の演說會禁止に對する反抗、若くば獨逸人の商店破壞にかこつけし革命黨の運動等であつたが是等は皆露帝陛下の忠實なる近衞兵及びコザック兵が長劍を揮つて斬りまくつたものである、猶ほ物々しい戒嚴令で鎭壓したものである、然るに這回の革命はこんな小さなものではないらしい、事實閣員及び首相ゴリッチン氏等が監禁され露帝陛下また退位を遊ばすに於ては天下は糾然として民黨の手に掌握されたものと云はねばならぬ、元來露西亞民黨の人々は政權を

▲純スラブ人に

よつて占めたいといふのである、而して親獨派なる宮中の官僚派を根柢より一掃せんと企てつゝあつたのである。然るに露國に於ける官僚黨と民黨との爭ひは單に理論や主義の上の親獨非親獨でなくて官僚黨にとつては實に自分自身の利害關係―生命財産の安危に及ぶのである。それで官僚派は假令首が飛んでも民黨に政權を渡す譯に行かぬ、渡せば皇室まで禍を及ぼさんとも限らぬ有樣で實に兩派の間には一歩たりとも和協の餘地がないのである然るに

▲宮中を圍繞す

る官僚派には内相プロトポポフ氏の如き親獨派がありこれに彼の怪僧ラスプーチンなどの一派が頭として民黨の意見を容れず議會は停會に次ぐに停會を以てし―露國の議會は三四箇月間も停會する―到底双方共に折合はつかぬのである、其れで民黨側では此の際斷乎として革命を行はずんば他日永久に官僚派の頭を壓へる時期がないといふので猛然蹶起したものと見れる、それに獨逸と開戰した官僚派は戰線に於て如何なる成功を收め得たか且つまた内政上では全國の

▲食糧缺乏問題

は何うであるか……と盛んに官僚派攻擊の火の手をあげて遂に這回の革命動亂の巨火を焚つけたのである夫に露帝陛下の退位を見たといふのは陛下が常に皇后アレキサンドラ陛下の御意見をお用ひになり皇后陛下はまた獨逸のヘッセン公主で居らせられるので勢ひ親獨派の言をお悅びになる有樣、彼の怪僧ラスプーチンの如きも始めは虛弱なる東宮殿下の御病氣祈禱から宮中に出入することゝなり遂には親獨派の爲めに辛辣な手腕を揮つた男でネバ河畔の暗殺に陛下の軍人が加擔したといふことは陛下の最も御不快に思し召されたところであつた。されば這回十二三歲の

▲皇太子殿下を

擁立して露國の皇帝とするとは實に甚だ民黨の爲めにスラブ族の爲めに公平無私な新陛下を戴くといふ意見で攝政には必ずニコライ親王殿下が迎へられるに相違ない、殿下は實に數多き露國皇族中での純スラブ人として國民の敬愛措かざる武人、今年六十歳以上の老年なれども容貌魁偉で妃殿下はモンテネグロ王家の御出身であるから他の皇族の多くが獨逸出の妃殿下を迎へられたのに比べてスラブ人の氣受よきところ、現下軍國の

▲露西亞の畏敬

すべき武人としてエハガキに寫眞に國民の愛敬するところ現露帝の叔父君に當らせらるゝが此の方こそ眞實の攝政として衆望の集るところであらう。猶ほまた露帝が退位遊ばさるゝ以上はツアルスコエセロの宮殿も革命軍の劍戟に取圍まれたかも知れぬ、殊に皇后陛下は如何遊ばされたか最も懸念すべきことである、現に日露戰爭後の革命には陛下の軍隊が革命黨に呼應してネバ河畔の冬宮に砲彈を擊ち込んだことがあつてその爲め露國が立憲政體となつたやうな譯だが這回も或壓が出來なかつたと見れる、併し軍隊の中には

▲官僚派の者も

尠なくないので或はまた不意に官僚派の軍隊が革命黨を鎭壓するかも知れぬ、露都には現時二箇軍團の兵と騎兵隊とがあるがあの壯麗なペトログラードやモスクワが兵燹にかゝつて廣き街路の上には慘澹たる市街戰が行はれるかと思ふと實にわが與國の爲に寒心に堪へぬ次第である。されば這回の革命によつて一朝民黨の天下となれば

▲獨逸との戰爭

は一層猛烈に行はれるかも知れぬ、詰り從來宮中に瀰漫せる親獨派を一掃したことになつて露軍の士氣はいよ〳〵揮ふかも知れぬ、然しながら目下强敵獨逸を國境に控へて兄弟牆にせめぐのは露國の爲め洵に寒心に堪へぬ次第、惡く云へば戰線に起てる露軍の士氣を沮喪せしめ唯さへ困難なる露軍々需品の準備に障害を來し敵をして露國の際に乘せしめる不利益がある、猶ほまたこれを英佛側に見るも多大の損害であつて現に來るべき解氷期には東西相呼應して猛烈なる攻勢に轉ずべきは世人の想像に難からざるところ、それが或は

▲此の動亂の爲め

挫折せねとも限らぬのである、次に我が日本の利害を鑑みるも洵に容易ならぬ事變であつて友邦の不利は最も痛切に響く次第である、何分にも現時獨墺同盟軍側が最も戰線に努力しつゝあるは東方の露西亞に相違なく若し一朝此の方面の兵力に餘裕を生ずれば西部戰線に活動するは歴然たるところ露國が民黨の天下となりても戰局に多大の發展を見ざる限り何う見てもこの革命は協商國側の不利益と云はねばならぬ。それに此の革命こそ戰亂の終熄及び單獨講和說も故なきことではない元來民黨は單獨講和に反對で此前官僚派の内相プロトポポフ氏が

▲瑞典の大使館

に於て獨の外交官と協議した時も民黨の領袖ミルコフ氏は議會に於て痛烈なる大攻擊を試み果ては親獨派の露國奴呼はりを怒號したので一時は内相が裁判に告訴せんとしたともあつた、併し民黨のミルコフ氏は『やるならやつて見ろ、事實だから致方があるまい!!』とやつつけた事もあつた位で民黨はとてもやるまいと思はれるがそれでも何う變化するか分らぬ、或は此の革命が大なる内亂となつて唯さへ困難なる鐵道輸送が愈々困難となり猶ほ一時でも國内の

▲行政機關が止

まれば由々しき大事である、われ〳〵は決して此の問題を對岸の火災視することは能きぬ、序に露國の議會は上院及び下院と分れて居るが上院は二百二十四名の議員で主として官僚派が占め議員は日本の如く終身でなく陛下の思召次第で何時でも廢めさせられるのである、而して下院は四百十二名の議員よりなり各種各樣の政黨あれども何れも大同團結して官僚派に對抗し遂に這回の如き態度に出でたものであらう、民黨の統領はミルコフ氏とロッジヤンコ氏の二人であつて前者は演說も巧みに人格の高い人で下院議長の任にある、また後者は常陸山大の大男で財産のある異常の演說スラブ人である、而して議會の頭說の過激なとは驚くの外なくこれを見ると露人が一面從順な溫良な國民であつて同時に隨分思ひ切つた亂暴をやる性情を有つて居るとが解る。

▲露國々民性の

研究は到底盾の一面を見て解るべきものではない尤も多數の民族を包擁した尨大な國で同じスラブにも大スラブ小スラブあり烏渡一口に云へぬ國民である、要するに露國の政變はわが日本などゝ異り直接皇室に關係する譯でなく〳〵一通りの事で相濟まぬのである、現に民黨などがにらまれるも道理、彼の昨年わが國に使せられたゲオルギー、ミハイロウイッチ大公殿下でさへ皇后陛下の御批評を云々せられたとかで露國大本營附を廢めさせられた位ゐである、殿下は極めて溫厚な方であるが皇族でさへ意見が異れば此の通りで致方もないことである。

人事消息

▲小田切陸軍少將 十七日朝退京
▲藤本勘三郎氏(法學博士) 十六日午前著釜同出港連絡船にて東上
▲松風嘉定氏(京都製陶家) 十六日午後九時四十分入港對馬丸にて釜山上陸京城へ
▲平田德太郎氏(仁川觀測所長) 十六日附全北全州、全南羅州、木浦へ出張を命ぜらる
▲岩井長三郎氏(土木局技師) 同日附淮陽郡蘭谷面へ
▲神野忠武氏(總督府事務官) 光州監獄官内各分監並に大邱監獄狀況視察の爲め同地方に出張中の處此程歸任
▲近田文藏氏(土木局技師) 十六日忠北へ出張

七人組強盜團捕はる

十圓許りを強奪して逃亡したり急報に接し谷城警察署にて爾來犯人嚴探中

（二七）▲相沢風（二六）▲村石與（二三）▲金□共（二〇）▲曹己煥（二九）▲竹林里崔在洪（二七）▲金振俊（二二）

財を殺す　江原道通川郡

署に屆出で又伊川郡方丈面毛相洞金錫弘（一三）は客月十日耐一頭を同月二……

課題、懸賞募集規定

天は晴れ後曇り

慘！急轉直下の形勢

十七日前に目撃せる露都の光景

陸軍省經理局衣糧課長一等主計正　河内曉氏は今朝語りて曰く

露國に於ける戰時軍需品供給狀況及び鐵道工業等を視察して歸朝の途中なる陸軍省經理局衣糧課長一等主計正河内曉氏を龍山兵站部に訪ふに氏は露都に於ける革命動亂に就て語つて曰く

露國に動亂の勃發する兆候は有つた而かも之れ程までに急轉直下しやうとは豫期する事は能きなかつたペトログラードが革命の火に燃ゑて皇帝が退位された!?實に驚くべき出來事だ而しながら熱な露國の現狀に顧み政界及び民心の趨勢を觀察する時は

♣事の茲に至るは蓋し止むを得ぬ次第であらうとも思はれる革命動亂に次ぐにニコラス二世陛下の退位、それに次いで起り來るべき事は何事であらう、この革命と皇帝の退位は將來に何事を暗示して居るか、それは神秘の謎である自分が茲に明々地に語る事は能きぬ

♣今表面に現はれて居つた動亂の原因

とも認むべきものを述べると斯うである、自分は今より十七日前二月二十七日の午後八時に露都を出發して歸途に就いたが此廿七日は恰も停會中の國會が開かれる日であつた、それまで隨分市中は不穩の空氣に充たされて居つた、各處の工場には同盟罷工が起るし其處にも此處にも○○○○○滿潮のやうに湧き上つて居つた

♣議會が萬一政府の威壓に屈して居る

ならば先づ議會から叩き潰して政府に迫まらうと云ふ意氣込みが言葉にも色にも現はれて居つた、市中の光景は殺氣充ちて何時動亂が勃發するか分らない形勢であつた鐵道從業員の同盟罷業も起ると云ふやうな噂が有つたから途中西伯利亞線中で立往生するやうな事になりは爲ないかと懸念して居つた

□禁止　學生演說

京都帝國大學法科學生團演說は京大評議員會にて禁止されたり（大阪特電）

▲コサック兵の市中配備

議會が愈々開かれる前日に至つて多數のコサック兵はペトログラードの市中に配備された、元來露都は叢多の革命動亂を經て近衞隊などがいざと云ふ場合に於て暴民を防がぬ許りか動もすれば矛を逆にして暴徒に與みして政府に敵對したと云ふ苦い經驗を嘗めて居るから愈々形勢が不穩になるとモウ近衞隊などは賴みに成らない其處で

□政府は哥薩克兵を招致して其の警衞に任じたのである哥薩克兵は近衞隊と異り上官の命令であれば同胞に對つても用捨なく發砲すると云ふ風であるから政府の賴みにして居るのは僅かに哥薩克兵ばかりである此の哥薩克兵がペトログラードに配備されたから殺氣は愈々露都に充滿した、實に露西亞の革命動亂は其の萌芽遠く聞く處に依れば民間及び多數の職工にはそれぞれ銃器が渡つて居つたとの事である今や露都には

□白麵麭が絕無こ成つて黑麵麭さへも容易に得られなく成つた爲め下層社會には空腹で一日二日を通す者が夥しく成つた

▲切迫せる國民生活調節の必要

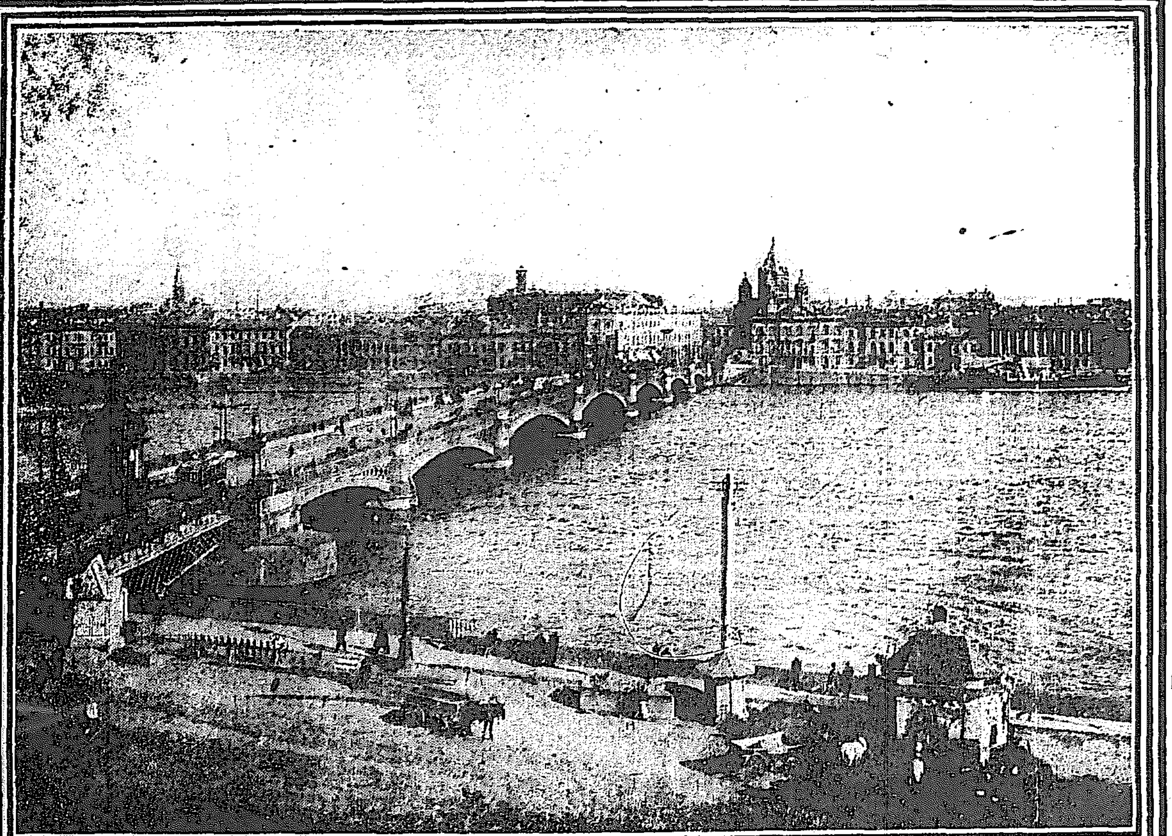
然かるに露國の田舍に行つて見ると年々二億留以上も外國に輸出されて居つた農作物が開戰以來輸出せられずに停滯して居るから地方民は

□穀類を積込んで困つて居るが之れを搬出すべき貨車も車馬も悉く軍需品輸送に徵發されて居るから砂糖の如きも南露西亞地方には有り餘る位であるが露都には極めて僅少の砂糖が出廻つて來るばかりである、薪炭も其通りである、而して今や露國政府は戰よりも國民生活の調節を圖らなければならなくなつた

□下層社會は食糧に苦しみ戰に疲れた動搖は間斷なく露都を中心として全國に波及した自分が露都を出發する際に既に殺氣は都門に漲つて居つた哈爾賓迄の間九日の間は何事も知る事が能きなかつた哈爾賓まで來たなら判るだらうと考へて來て見たが哈爾賓では一切そんな狀況が分らんので

□少し變だこ思て居つたあれほどに切迫して居つた風雲が何事もなく收まつたかと不思議に思ひながら鐵嶺まで來て車中で新聞を見ると始めて露都に騷擾が起つて居ると云ふ短かい記事を見たのでさてこそと思ひ合する節が多かつた云々

河内一等主計正（龍山にて―向つて左）



◇爆破されたるネバ河鐵橋（寫眞參照）

新帝と仰がれ給ふべしミ承はる露國皇太子

アレキセイ、ニコライウイッチ殿下

小田切陸軍少將京釜線車中談

這回露帝御退位と共に擁立され給ふたとの噂ある露國皇太子アレキセイ、ニコライウイッチ殿下は今年確か十三歳にならせられるかと承つて居るが極めて背高きお方である、殿下は極めて無邪氣に渡らせられ自分と交際した

♣駐露大使館附武官石阪少將などはいつも大本營でお遊び友達のお相手を仰せつかつて居る

殿下はいつも水掛けや鬼ごつこなどがお好きで石阪少將はなか〳〵のお氣に入りであるが自分も這回お寫眞などを戴いて歸つた、殿下は御兄妹に四人のお姉様があり一番の姉君がオルガ内親王、お次ぎの方がタチアン内親王、マリー内親王、アナスタシア内親王合せて四方の姉君があらせられ露帝陛下にはたつた一人の一粒種の皇子で居らせらるるところから

♣兩陛下の御寵愛も一方でない、それに殿下は御幼少の頃から

御病弱に渡らせられたので兩陛下の御心配は容易でなかつた、されば國中の名醫といふ名醫はみな殿下の御健康を身命にかへてお祈りしたけれども更に驗しが見られぬのであつたが其の時偶然祈禱によつて殿下をお健やかにしたのが例の怪僧ラスプーチンであつた、ラスプーチンは實に東宮の御病氣を治したお蔭で宮中に入つたので鳥渡小說にでもあり相なはなしである、兎に角御幼少の殿下が今日御即位遊ばすやうたことが友邦の爲めに虛報であることを衷心から祈る次第である（太田電話）（殿下最近の御撮影は夕刊一面にあり）

◉政務總監ミ白銅

新鑄の五錢の白銅は眞中に孔が開いてるだけに鳥渡見が珍らしく氣が利いて見ゆる、近頃になつてボツ〳〵流通されるやうになつたが市場に出てるものはホンの僅かに過ぎない、本元の東京でさへ容易に見られないが十六日の晩に歸任された山縣政務總監は新鑄の白銅を持つて歸り汽車中に出迎へた人達に一個宛お土産だといつて皆に與れた、釜山では廣田中學校長なども貰へた組だが流石に教育家だけに直ぐに之れを生徒に示して實物教授をしたさうだ、寫眞は實物大、大正六年といふ文字にお目留められるやう、朝鮮にも遠からず來る事だらう

◉變裝刑事ミ覆面の留置場破り

三十分の挌鬪　南山本願寺に入つた強盜

昨年十二月中警察犯處罰規則違反者として拘留十五日の處分として京城本町警察署に留置中同月二十二日午前八時頃洗面を爲して看視巡査の隙を覗ひ板塀を乘り除て逃亡したる自稱京畿道廣州郡忠國面生れの安景善（三十）は其後姿を晦まし爾來本町署にては其の行衞を嚴探中なりしが此程同人が高陽郡崇仁面懷基里の餠店權永秀方に潜伏中を突き止め三月十五日本町署の鮮人刑事二名が旅人の風に變裝して同家に宿泊して張込み中覆面して外出先より歸り來りたる同人を取押へんとしたるに激しく抵抗し約三十分挌鬪の後遂に捕縛し引致して嚴重取調べの結果不敵なる同人は强盜前科二犯の曲者にて逃走後京城南山町本願寺、貫鐵洞權春方外數箇所に忍び込みて窃盜を働きたる旨自白するに至り引續取調中

◉別れた男を慕ふ十九娘

物狂はし氣に曉の冷めたい海へ

十六日の午前六時四十分頃釜山南濱町河岸より牧の島へ通ふ巡航船玉成丸に慌しく飛び乘りし年若き娘は

▲著衣の儘海中へ投身したるより船長朴大鎭機關手前田某は機關を止め辛うじて引上げたるがこは長崎縣壹岐郡勝本生れ當時釜山本町一丁目三番地の五中上儀三郎の二女はな（二〇）と云ふものなること判明したるを以て實母を呼出し引渡したるが母親の語る所に據れば

▲花の戀慕ひ居る男が大阪に歸り同地にて元の女房と夫婦となりし由を聞き失戀の餘り也と（釜山）

◉浦鹽棧橋の火災

浦鹽棧橋十二日朝十時火災を起し混亂を極めたり碇泊警戒中の帝國〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇鎭火に從ふ重輕傷者五十餘名を出し二時鎭火損害多大なる見込なり（大阪特電）

◉露都の鐵橋爆破

露都の中心を流るゝネヴア河上に架せる鐵橋はダイナマイトにて破壞されたり詳報未著（東京電報）

▲附記　露都ペトログラードの中心を貫流して居るネバ河は毎年十一月上旬に結氷し四月上旬に解氷する此の間ネバ河上は殆ど市民の遊戯場と化し幾條もの電車鐵道氷上に敷設せられて居るを以て擾亂の爲め橋梁破壞せらるとも市の交通には何等支障を來たさゞるべし

可演藝案内

天然色活動寫眞株式會社朝鮮一手代理店　早川直營　電二六三七　黃金館
△自三月十四日より特別大興行
△朝鮮日報寄贈の御禮として特に普通料金にて御覽に供す
▲大正美談『文明の復讐』（全十八卷）『福山白骨事件の眞想』
▲片羽鳥（全五場）
▲泰西探偵大活劇カルロス（全四卷）

明治町　浪花館　電話二二六〇
△東京、大阪落語若手揃大一座來る
△本月二十日より毎夕五時開演

京城壽町　壽座　電話五七八番
▽現代自然の滑稽一夜の笑ひ見落す勿れ
▽曾我廼家喜劇蝶鳥會
▽三月二十日乘込花々しく開演なす

櫻井町　大正館　電話八七三
△三月十六日より引續き特別大興行
▲米國キーストン會社製作滑稽活劇『デブ君のズボン』（全二千呎）
▲日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店
▲大活劇『第三快漢ロロー』第四第五編
▲新派悲劇『片男波』（全三卷）
◎喜劇女中入用

初日滿員御禮
ハレー失敗の卷
本晚より實演喜劇差加へ申候
入場料普通　大正館

菊と朝顏　寫眞入銘鑑培養法入用方に郵券二錢送附願ふ
大阪市東區淀屋橋道修町　朝顏菊專門　細井秋好園

工事請負公告

一、府内各所共同便所修繕工事

此入札保證金ハ各自入札金高ノ百分ノ五以上

入札者ハ京城府内ニ於テ國稅地方稅、府稅、學校組合費年額貳拾圓以上納ムル者ニシテ貳年以上斯業ニ從事スル者ニ限ル

右大正五年六月六日京城府條例第二號ニ依リ入札ニ附ス希望ノ者ハ本府會計係ニ就キ仕樣及仕譯書等熟覽ノ上參月廿貳日午前拾壹時限リ同會計係ヘ入札スヘシ即時開札ス

此契約ハ朝鮮總督府府尹　金谷充　擔任

大正六年參月拾六日　京城府

質　堀佐營業所　京城黃金町二丁目（永樂町停留所北入）電話六三九番

大阪唐物町四鈴田商店

漢江流域荷客取扱
運搬力充分・安全迅速
寄港地　春川、麟蹄、楊口、原川、長湖院、忠州、丹陽、淸風、牧溪、驪州、他隨所
龍山元町河岸　電話二〇番　エッチ商會運送部

期米　曾我商店

鑛石分拆賣買
電信電話電燈電鈴表示器避雷針建設請負
電氣機類販賣
諸官衙御用　京城黃金町一丁目一五七番地　勝山洋行　電話二九三七番

代理店　京城吉野町一丁目　藤長商店　電話一三一七番
代理店　仁川宮町通り　早川染工場

期米　富之み（週報・商報）進呈
大阪堂島米穀取引所仲買人　丸山亮平商店
電北　一〇一四　一〇〇五　一〇一六

種子類販賣
一、馬鈴薯種
一、薩摩芋種
一、ツクネ芋種
一、生姜種
一、赤芽芋種
右精選品廉價に販賣可致候間多少に不拘御用命願上候
京城南米倉町市場　住竹商店　電話一七七九番　振替口座京城

顧客本位にして確實親切に御取引仕候
東京株式取引所仲買人
丸山浦次郎商店

し一部は見張りをなし他は家人を捕へ……して現金百十二圓外に衣類雜品等三……調べの上檢事局へ送れり ▲谷城郡玉果面玉果里鄭永烈（二六）▲金永■……尺五寸の……頭を發見し十六名の里民と共に包圍して之を撲殺して通川……

……午前八時四十分……二三等客……一等（三名）……十六日午後九時四十分釜山入港對馬……

日本史界の損失

宋の陳龍川の文章を愛讀した　丼に六七杯の飯を平らげた

故山路愛山氏の事ども　總督府囑託　今關天彭氏談

愛山氏の訃は甚だ驚くべき事です殊に私は氏と共同の事業の中途に在るものも有りますので死なれて困りました、氏は實に現代日本に於ける唯一の

□在野歷史家 です神代から明治に至るまでの日本歷史の大勢を觀察し其の興亡成敗から各時代の世相に精通し之れに對する堂々たる意見を持つて居るに於て恐らく氏の右に出る人有りますまい、勿論部分的に或る時代を劃區つて深く研究して居る歷史家は大學などに居りますが上下二千五百年を通じて何れの時代に就ても一家見を具へて而かも明確なる思想と暢達の筆とを以て

□縱横に批判 し得る歷史家は實に愛山氏を措いて他に求める事は能きません竹越三叉氏なども有るが其の批に於て到底匹ぶべき者は能きぬ氏の畢生の事業は一大日本民族史を完成するに在つたのです氏は其の爲めに澤山の書物を集め又非常に澤山の新聞雜誌の切拔又は氏の原稿なども山積して居ります此れまでの名著作たる日本英雄論も其他の歷史、評論、史傳等も謂はゞ民族史完成迄の途中に於ける小出しを爲たものか又は其の副產物に過ぎないのです此の一大民族史の完成を見ずして氏の訃を聞くは洵に

□日本史界の 爲めに浩歎に堪へません、氏は單に日本歷史に通曉して居るばかりでなく支那歷史家としても亦京大の內藤湖南博士と對比すべき人であります東京に市村瓚次郞博士が居るが愛山氏の方が一歩を踰れて居る如うに思はれる愛山氏が支那歷史の評論家として名を知られたのは項羽論及び支那思想發達史等を發表してからである氏は

□支那歷史に 關しても日本歷史と同じく支那二十四朝の大勢を通觀し各時代に於ける民族の消長思想の變遷興廢得失の原因結果等掌を指すが如く明かである加ふるに明快なる其の思想を明快透徹したる健筆で自由自在に書いて行くと云ふ風であるから近來の支那評論の中でも氏の著述された支那論位其の要を得たものは少ない同じ

□支那評論 も內藤博士の論は深邃な思想を一種沈靜なる哲學的頭腦の鏡を以て觀られるから或る知識階級以上の者でなければ解からぬ嫌ひが有る、其他の處では現今日本で爲る支那論を聞く事は能きぬ吉野博士なども近來頗に支那論を發表するが未だ其の奧に入つて居らぬ、此の點に於て愛山氏は其の健筆と明晰なる思想を以て文明評論家の態度と支那歷史家の見識とを以て民族思想の機微なる點より其の政治經濟から古今の制度慣習に及び流暢よく萬人の耳に入り易き論評を下し而かも

□妥當穩健で ある此の方面から見ても日本は唯一の支那評論家を失つた事を悲しまなければならぬ氏の漢學は古への宋學の流れを汲み程朱の思想を基礎として出發し以て東洋哲學と西洋哲學との一致點を發見しやうと勉めた此れに就ては是非の議論も有るが茲に亦氏の見識を發見する事が能きる氏の文章は實に氏の

□獨得の達意 にして深刻なる文章である氏は朱學の影響と共に文章は唐宋八家の文を好み詩よりも散文を好んで居つたから從つて四六騈儷の趣が尠ないが言はんとする處を率直に自在に言ひ表はす事に長じ最も宋の陳龍川の文章を好んで居つた陳龍川は朱熹と說を戰はした文章家で最も猛烈攻擊の文に達した人である、朝日奈知泉も

□之れを愛誦 して居つたとの事である氏の文章は之れを蘇東坡に比する事が能きる最も氏は蘇東坡の論策を深山に讀んで不易にして乘の到るべき處に到つて止むと云ふ風が有る「錐を使ふ事紛の如し」と云ふ事が有るが愛山氏は實にそれである氏の文章には粗野なる措辭が巧みに用ひられて其れが却つて文意を強めて居る處など他の摸倣を許さゞる處である氏は生粹の江戶つ兒である一體江戶兒にはキリツとしたメスのやうな上品の切味を持つた人と南蠻鐵を鍛へ上げた

□無反の大刀 のやうな人とがある氏は其の文章と共に其の性格も亦野武士的である綺麗な切味のいゝメスではなくて無反の大刀である飯を食べても丼のやうな茶碗に六七杯は喰べるし味噌汁も大きな鍋を一度に呑み乾すと云ふ風だ又氏の文章は支那小說の影響も尠からず享けて居る

□殊に水滸傳 は氏の最も好む處傳中の花和尙は氏の最も愛好した人物であつた。

盜み損ねて 少年の鐵道自殺 西大門驛の轢死

十六日午後九時四十分頃京城西小門外の鐵道線路に轢死未遂者あるを西大門驛員が發見し急報に接したる本町警察署より係官警察醫出張檢視せしが轢死者は

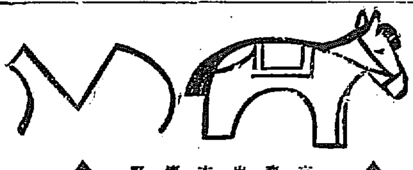
▲覺悟の自殺 を企てしも死に損ねて絕命するに至らず取調べの結果廣島縣佐伯郡井の口村生れ當時京城本町四丁目綿商岩見晋松方店員東勝太郞（一七）といひ午後九時四十分西大門驛に著すべき列車に觸れて自殺せんと線路內に東向に打伏しゐたるに折柄進行し來れる機關車の下部の心棒に著衣が引掛り約二十間許り

▲引きづられ 行き右脚の拇指の尖端を切斷され其他前頭部右肩胛部等全身數箇所に打撲傷擦過傷等を負ひたるも絕命するに至らず生命に異狀なかるべしと勝太郞は十六日主家より綿少許を竊み出し之を他に賣却せんとする際を

▲主人に發見 せられて意見されたるより良心の苛責に耐へず此の始末に及びたるものと判明せしが主家にては同人を引取らず身寄りもなき爲め行旅病者として京城府へ引渡せり

讀者文藝（一等には五十錢の賞品券を呈す）

△狎め忍



○瀨戶物の馬（一等）　仁川本町四　小柳町吉

▲佳作　京城　朝毅生、京城久美子、加平四野素水、京城池田末弘、龍岩浦武良富美子、龍山本野生、京城仁木生、平壤久野春洋、大田波多野生、仁川今本明、

▲次回題　上圖の通り

並木町の小火

十六日午後零時十分頃京城並木町一八八劉永植方溫突の焚口より發火し常備消防出動溫突一間を燒失したるのみにて鎭火せり

神社とお寺と敎會

○曹洞宗別院（若草町）　十八日午前十時より顯風、御例會同午後七時より彼岸會說教あり

○日本基督教會（長谷川町）　三月十八日午前九時日曜學校同午前十時禮拜說教『イエスの力』井口牧師同午後七時傳道說教『平和の生活』井口牧師

○龍山日本基督教會（漢江通）　十八日午前九時日曜學校同十時禮拜說教『永遠の生命』午後七時傳道說教『責任の所在』伊藤牧師

○京城基督教會（南米倉町）　十八日（日曜）午前九時半より日曜學校十時半より朝拜說教『最高の權威』藤無牧師夜八時より『牧者としての伯者』但牧師の說教あり因に藤無牧師は一ヶ月の傳道を了へ來る二十日朝出發今治へ歸任の筈なり

○聖公會（南米倉町）　三月十八日日曜集會午前十時聖餐式說教『聖旨を地に成らせ給ふ』一色司祭午後一時日曜學校午後七時半晚禱傳道說教『サクラメント說明』同司祭二十一日（水）午後七時半大齋講話『預言者イザヤ』一色司祭二十三日（金）午後一時同『キリストとマリアとマルタ』同司祭

○妙心寺（長沙洞）　十八日午前十時より大般若の提唱あり

商況

債券現物特電

東京 十七日出來値	
東洋拓殖	六三、五〇
京城電氣	六二、〇〇
朝鮮銀行	一七六、〇〇
朝鮮瓦斯	一一九、〇〇
南滿鐵道	一三八、五〇

公債直取引（東京特電）

十七日出來値	
五分利	九五、三〇
五分特別	—
一回四分	—
二回四分	—
甲五分	九五、三〇

深川在米特電

十七日現在高	
朝鮮米	二四三、一六八
臺灣米	八九、八八六
內地米	一、七六九、一三〇

東京期米特電

十七日前場	五月限	後場
寄付	六六、四〇	—
高値	六六、五一	—
安値	六六、三四	—
止め	六六、四三	—

大阪三品特電

十七日前場		
五月限	九〇、〇〇	九〇、八〇
六月限	八六、四〇	八六、九〇
七月限	八三、四〇	八四、一〇
八月限	八一、二〇	八二、六〇
十月限	八一、五〇	八二、四〇
三月限	八一、八〇	八二、八〇

大阪期米特電

十七日前場		
當限寄付	一五、五四	止め
中限寄付	一五、七七	
先限寄付	一六、〇四	

下關期米特電

十七日前場 晴	當限	中限	先限
寄付	一四、〇〇	一五、二二	一五、四〇
高値	一四、〇〇	一五、三六	一五、四二
安値		一五、二三	一五、四五
止め			一五、四〇

雜報

●綿糸布氣丈　前日大阪三品の先物八品は綿糸株高に人氣も引締り先物八十三圓を抜きしが後場に至り內地の報と株式の不勢に一轉不勢に陷り後場止めに至り一圓九十七錢迄引落し聊か先行き懸念の傾きありて今前場は綿糸先物百八十二錢高と報じ

▲綿糸先物 百八十二錢高 ▲綿布 三錢六厘四十七錢と前日に比し ▲一錢五厘安 の入電にて比較的底固き市況なり

●皮革類愈々拂底　皮革類は近來輸入途絕の為めキッド其他各種原皮の ▲缺乏 を來しキツトボックスの如きは內地市場に於て ▲全く品切 れとなりたる爲め之が加工地たる亞米利加に材料輸出を禁じたる爲め之が加工地なる亞米利加にても ▲模樣 なりこれもともとキツトボックスの如きは原產地たる印度が輸出を禁止した ▲其量多 からずかたは又豚皮の製品として ▲馬皮の製造 始めらる可く ……

●洋釘高氣配　洋釘は過日安值……同市場は當市中相場は四吋以上の荒物に對し五十錢方を引上げしが其後大阪市況は益々強硬の模樣にて ▲更に五十錢 內外の ▲昂騰 を見んとする傾向なりと傳へつゝあるが如く原料高の為め此の勢は續く成行きに近く ▲高 中の割安物も追々姿を隱し近か く幾分の值上りあるべしと期待さる

●糠移出不勢　需用期に入りたるに拘らず糠は地元需々のはけ口あれど比年騰貴せし結果を消化し盡すべくもあらず勞ひ內地移出向に左右さるゝが最近 ▲內地相場不味 なる為め移出商談思はしからず仁川には相當圓りたる荷ある等にて值段百斤四十五錢京城は南大門驛渡 ▲四十錢 見當にて昨今內地へ仕向けられつゝあるも荷捌け惡しく今後は ▲一層氣不味 かるべし

●千切大根氣高し　數年來屢々大雪に被害多かりし內地蔬菜類は價格の暴騰と出廻り薄くなりしが爲め日用食料品として本品の買行き引續き旺盛を告げ產額の增加なりしに拘はらず人氣強硬にして例年の如く相場は下らず一時は三圓九十錢處迄下向きしもの昨今却つて引戾し ▲四圓十錢處 を唱へらるゝに至れり

●椎茸は強硬　本品は秋子の作柄不良なりしに輸出向好況にて在荷不潤澤なりし折柄 ▲春子 も此の降雨の ▲稀れなる作柄悲觀 を呈し自然人氣は強き方なり相場も上物八十圓見當と依然高値を唱へ居れり

●新若布出廻　朝鮮產若布は平安道地方にて作柄良からざる如く平年の三倍位の高値を唱へ居れる向もあれば內地品を以て之を補充せんと計る者ありたれど製造仕上げの方を異りたれば賞行しかれたるか例年の移入品は對州其他九州沿岸の外もあれどやはり南部物と解する矢先もはや ▲新物出で初め たれば……

▲期米 仁川米豆取引所仲買人 ⊕齊藤宗之助 仁川海岸町三丁目 電話三六七・三六九 賣買 電略（サ）又は（ヤマサ）

●骸炭の需用　朝鮮に於ける骸炭の需用未だ多からず主として家庭向き需用及び工業用に使用さるゝもの多ければ其需用も今日以後にあり之が供給は各地の瓦斯會社に依るもの外滿洲及び日本產に俟つものなるが近來需用增加の傾あるを見越して之が製造を企つる者多し目下市中は專ら龍山瓦斯會社の製品を用ゐ此製造高昨年度は二千四百噸の豫定なりし も實際は ▲一千噸未滿 にして且つ同會社自身の使用高多ければ市中に放賣さるゝは其一部に過ぎずして品不足し昨今は忠南地方の注文を謝絕するに到れり值段は ▲噸十五圓 にて內地產は二十二圓より三十八圓 ▲市中持込一十八圓 近來需用向きは大抵瓦斯エンヂン用なれど菓子製造に用ひて評判よろしければ漸次一般向き將來としての販路拓かれむとする模樣なり

京城正米

▲十貫十二圓見當　相變らずの賴高に正米持主の安くは手放さずと雖仁川期米寒落後稍人氣は弱模樣に傾き居れり見當相場は上玄十二圓三十五錢乃至十二圓九十錢次品十一圓五十錢より十一圓九十錢位よりは約十錢方引弛みたり

南大門の廻穀

江景玄米	二六八叺
天安玄米	一四〇叺
平澤玄米	一〇二叺
平澤玄米	三三八叺
平澤玄米	二五〇叺
成歡玄米	三〇四叺
群山在米	二五〇叺
平澤玄米	二八四叺
平澤玄米	一一二叺
平澤玄米	二一〇叺
鳥致院小豆	九〇叺
新灘津粟	二二二叺
汝山玄米	四一〇叺
黃州粟	三〇一叺
金堤白米	六三〇叺
水原白米	四七叺
長湍玄米	四〇叺
元山花子	三六〇叺
一山白米	六〇叺
平澤白米	二五〇叺
平澤玄米	二九九叺
鳥致院玄米	五六〇叺
鳥致院胡麻	三一〇叺

仁川現物市場

▲籾入津 三四百俵（氣配變らず）▲正米 四五百叺（氣配變らざる唱へ）▲大豆入津少なし

釜山穀物（十六日）

▲正米（期保合）　出廻品も日々相當ある事とて當地賣り物は尠なからず

仁川期米

▲十七日前場 天候晴 氏前寄十五

大阪天候晴 前寄十六圓〇四錢 昨止より一錢高の入電一節〇九錢高に寄付たるが利喰に新規の賣物現はれ忽ち形勢一變十五錢と押し九錢と返し七錢迄ありたるに四錢高に寄付たる先十三圓五十三錢六錢と辿り二十錢高にて當地當中降止より五錢と押したるも一舉物出て更に二十錢迄 ▲大阪四節十三 錢高と報ずるや ▲高移 りしも又利喰の賣物多く十六錢と押し九錢に返し七錢と強硬の成行を示して散會

▲十七日前場

中限出來不申	當限出來不申

▲先限 十三圓八錢 七錢 六錢 八錢 七錢 八錢 九錢 十錢 十一錢 十二錢 十三錢 十一錢 十錢 九錢 八錢 七錢 五錢 ……（以下略讀不能）

田中金兵衛 定期賣買の業、電信略號 御一報次第御希望通り附可申候 電話長 一六五二八番

▲俄然跳ね返す　晴天昨後場騰開の解合附け出されたるより人氣落付模樣を呈し稍下げ止まりの形勢を示したるが今前場大阪の入電に十三圓〇八錢と寄付たるが今前場大阪の前場の入電に至らず押したるも⑩④⑭⑫銭と寄り其他より利喰に新規に買物多く忽ち十五錢と上伸し大阪の跳ね返しを受け更に二十錢迄上伸したるが⑩は無物⑬⑭⑫等の買物は品物に寄り昨後場の解け合ひにて上値人氣昂進し⑳錢と押して利喰の賣物を來して七錢と散會を告げたるも今回の賣物は何れも大阪の跳ね返しと傳へらるゝ市の見越しを以て更に活動を開始するならんとの說あり

市場零聞

▲㊤能く賣る　同店より今前場 押して發せしが何れも昨後場を傳へて賣り越しなるが利喰の銘柄に二百石の賣りありたるも注目されたり

▲㊀能く買く　前場同店よりの事一面五千餘石に上りたりとの由賣たる玉數七千餘石に上りたりとの

▲⑪能く買く　前場同店よりの事一面四千餘石の買ありたるも注目を惹いたり

▲㊦の商內　前場同店より賣りたる玉數八千餘石に上りたりとの事

▲㊐の商內　前場同店より賣りたる玉數五千餘石に上りたりとの事

▲㊄の商內　前場同店より賣りたる玉數三千餘石に上りたりとの事

▲今の商內　前場同店より賣りたる玉數三千餘石に上りたりとの事

▲㊇の商內　前場同店より賣りたる玉數三千餘石に上りたりとの事

▲暴落の原因　に就ては昨紙に所報の如く解合附け出しにて取引所理事長の斡旋にて賣方主力筋と買方主力筋との會見の結果

▲三萬五千石を解合 したると同時に賣方の買戾したる七萬餘石の ▲大玉全部を賣方の負擔 に歸し取引所理事長よりも兎に角大石の賣拔けんと爲したるも秘密に ▲賣拔け契約 の機を見たる如く之に對し賣方主力筋は之れ等の ▲意外の大暴落を演 じたる結果にて內部に主力筋の契約に破行する能はず再び食見の結果終に前の契約を破棄し茲に ▲正々堂々市場に於て雌雄を決 する事に鑑みしたるも ▲大阪高に隨ふ硬 き折柄大阪は高し暴落後にもあり ▲強成行 內情を示したる今前場は漸く大阪高に隨ふ硬調の成行を示したる今後の暴落は賣方主力筋の策略なりし事判明せりとの事である

仁川米豆取引所

十七日の五月限

平均値段	前場
寄付	十三圓十八錢
高値	十三圓二十七錢
安値	十三圓十六錢
止め	十三圓十八錢
出來高	四萬五千四百石
一節	十三圓十錢
二節	十三圓十八錢
三節	十三圓十九錢
四節	十三圓十八錢
五節	十三圓十八錢

賣買取組高

		前日と比較
三月限	二萬八千三百五十石	
四月限	七萬五千九百五十石	五高
五月限	五萬一千七百石	一一高
十六日後場		

一三、〇〇三	
一三、〇〇六	
一二、九九九	
一二、九九九	一七高

青物だより

京城青物市場　入荷は可成り多く一昨日は食鹽品市場のみにて十五六噸到著せしも暖かさのため葱ワケギ水菜の類內地手入れ届かざりしかば移送中に腐敗せり同市場十貫建値左の如し

蕪上一〇〇、次一七〇以下、水菜上一〇〇、下八〇、ワケギ五〇、菠薐一五〇、大根一三〇、其他地場物は牛蒡馬鈴薯辨出廻る值は一〇〇と一二〇見當なり

釜山食糧品市場（十六日）　果實は相場更に變動なく野菜は品不足の爲め割合上走りの取引あり品薄の爲め諸分高値を現はしうど玉葱は依り一般に入荷多からず

▲果實 ▲林檎大郞物一圓八十錢同二圓五十錢 ▲大長蜜柑同二圓五十錢 ▲大和蜜柑二圓三十錢 ▲色付八十錢 ▲大玉二圓二十錢 ▲野菜山葵一メ二十五圓八圓五十錢 ▲出の芋八圓 ▲長芋四圓 ▲五十錢 ▲うど九圓八十錢 ▲キャベツ二圓三十錢 ▲黒芋一圓三十錢 ▲牛蒡一圓二十錢 ▲燕一圓五十錢 ▲水菜一圓八十錢 ▲白菜一圓八十錢 ▲大根一圓二十錢 ▲蓮根三圓二十錢 ▲馬鈴薯二圓五十錢 ▲陳蕗平一圓三十錢 ▲大根漬一丁ツクキ二圓五十錢 ▲白菜漬二圓五十錢 四五十圓　出來高二百二十個

生魚市場

（京城魚市場）濟海風波のため漁獲なく入荷少し前日また拂底の狀況なりしも南三日前より稍荷囘への氣味なりしかば今日は上々になるにも拘らず值引きたゝず鯛出荷大口の平目鯛の上物は釜山より入荷せしも新鮮は京城は元山より入るも值しこの鰻は鮮人向きなり狀況左の如し

タイ三二、サワラ二八、シビ三八、平目一九、チヌ一四、ボラ一二、アナゴ一一、タコ一五、ニシン六、ハマグリ一四

釜山水產市場（十六日）　本日は入津多からざる爲め買手氣配引立ち昨日同樣相場變動なく好況を呈せるも鯛は更らに陸上せず

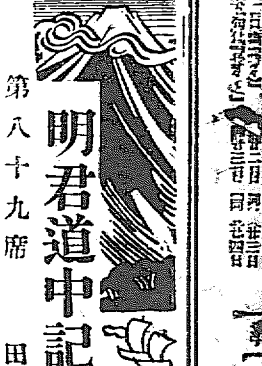
入船數八十二隻　十メ目建 ▲大フカ七圓 ▲小フカ四圓 ▲六圓 ▲ヒラメ十圓 ▲サワラ十六圓 ▲ボラ七圓 ▲アナゴ八圓 ▲ブリ十一圓 ▲八圓 ▲メバル八圓 ▲サバ十圓 ▲イワシ三圓五十錢 ▲雜魚七圓 水揚高 二千二百六十五圓五十錢

▲大豆 買り物は相當ある事なれど本朝は思惑殷賑買入なく鯰して常用口へ小口商內ありたるも氣配變らず保合なり

總川來高 千二百十八個 玄米千百六十八個 大豆五十個

本邦定期米は一昂一低の商狀にして昨今の定期高に連れ入電あり今市場買進み人の輸米口は持ある事とて一向買氣添はず强含み保合なり值依然として持米筋は產地との附合上相場の成行賣物尠なき事とて相當の注文促し來らざる事の事とて相當買ひ進みたる揚句なるも內地より思惑買が目立ちたる商談なく市場無活氣にして相場は保合

明君道中記



第八十九席　田邊南龍口演

妻のおゆりは始終を聞き喜び勇み夫七之助の許へ參つて此の事を話すと病牀にある七之助なれど小躍をして喜び、主三右衞門に此の事を申し入れ七『何うぞ、貴下の手引を以つてその左の拜見をさして頂くわけにはなりませんか』三『左うでございます、然う云ふ事なら明日私と一緒に六兵衞さんの處へお出なさい、話しをして其刀を見る分には仔細はございません、一日御覽になつたら眞僞が判

是を取調べると左馬之助は左『右の刀は加治木源右衞門と申す者が拙者方へ持參をいたしました故に是を殿に差上げ、猶源右衞門は仕官の望みある者乃で拙者推擧をいたし、左の刀獻上に依つて彼を召出す事に相成りました』小『それは以ての外、右源右衞門と申す者は駿府に於いて惡事を働き、山王明神の寶劍を掠奪し取り參りし者、その左の刀を當家へ納め仕官をいたさんと云ふは不屆至極

りませう』七『左樣でございます、拜見をすれば紛失をした刀か何かと云ふ事は直ちに判ります』三『それではお連れ申しませう』と翌日三右衞門は七之助を連れまして刀屋六兵衞の處へ參りまして、右の左の刀を見ますと眞實紛失をした刀であります故に七之助は大いに喜び七『さてこそ此の刀を持つて願ひ出た浪人こそは加治木源右衞門に相違ない』と心得た故、直に願書を認め三右衞門と同道して、幸ひ伊達家先代の家老片倉小十郞が此の仙臺の城內に居ります故、此の片倉小十郞の許へ願ひ出ました、小十郞は此の願書を取上げ一通り七之助に次第を訊ねました處が七之助は仔細を申し上げた故、乃で小十郞早速玉川左馬之助を召出し

な奴、決して仕官の儀は相成らん』左『左樣な者とは存せず推擧いたしたは拙者の不調法、何は兎もあれ彼の加治木源右衞門を是に呼び出しませう』小『早速是へ呼出しますやう、おゆり七之助と對面致させて吟味をいたす』と茲で加治木源右衞門を呼出し、七之助と會せました、源右衞門は大いに驚き一言の答もない、片倉小十郞は小『コレ源右衞門、其方駿府にて惡事を働き山上の社を燒拂ひ、左の寶劍を掠奪し國許を逐轉いたしたのであらうがな』源『恐れ入りました』小『それが爲に此七之助の父七郞右衞門殿に申し譯なく切腹い

たしてお詫びをいたしたが家名は改易した、是皆な其方の惡事より出し事との事であるが』源『七之助より手前の惡事を申し上げてありますれば最早拙者として申し開く事は出來ません』小『その上その刀を以つて玉川を僞り當家へ仕官せんと云ふは重々不屆至極なる所爲、切腹をも申し付けべき奴であるが七之助に汝を討せその怨みを晴させたく、依つて城下に於いて晴れなる仇討勝負を申し付ける故に左樣心得ろ』源『ハ、ツ』是から小十郞が伊達忠宗侯の御前へ出で委細を申し上げる、忠宗侯も御遊して忠『左樣な者とも存せず玉川の言葉を信じて右左の刀を手に入れ源右衞門を召出さんといたしたるは予が誤りであつた、此上は七之助に仇討を遂げさせ、右左の劍は駿河長侯の許へ納めるやう、其方よきなに取計へ』小『畏り奉る』と茲で仙臺城下の芭蕉ケ辻に於いておゆり七之助の夫婦を呼出して、仇討勝負を申付けました、敵討の模樣は每度申し上げます故略して、茲に七之助夫婦が源右衞門と尋常の勝負の上之れを仕止め、一先城內引上げましたが、仙臺の家來が十四五人にて夫婦を警衞いたし、七之助夫婦は右左の寶劍を携へて、首尾能く駿府に立歸りました

春が來た〳〵　木村屋パンと（京城明治町電話二八七〇）　お菓子たもとに野へ山へ

三月十九日九星

暦二月廿六日　己酉　本命九紫南破先負

▲九紫 延遲〳〵する事有る日新事見合西方に吉移轉南▲一白 自重忍び有る日新事手控吉▲二黑 一擧隆の日事は吉女離を防がるべし▲三碧 收入よき日轉居開業入門名譽旅行商人よし▲四綠 心痛み去り新たに福を招く日▲五黃 親より有る日勝負開店通信吉▲六白 悲しき事有る日爭ひよし▲七赤 師におちぬ事有る日新事手控慾心の事▲八白 萬事吉家賣の事

毛皮なめし　防寒靴スリッパ製造　大坂屋　地方代替郵送　京城黃金町三

寫眞　四割引　明治町東拓手前　坂本電二五三五　大城寫眞館

東京小松　ちの道　婦人一切重症の⊖脈⊖⊕妙藥⊕⊖ハガキ⊕にて申込ば病原理由自宅治療法の詳細說明書冊無代進呈す　本家　東京京橋區銀座一　小松盛林堂　全國各藥店有　小松疴の藥指命乞ふ

酒　煙草　きらいになる藥　禁酒丸　禁煙液　ざんな酒煙草のみでも害なく心から嫌いになる郵券二錢送れば說明書及大澤博士の禁酒禁煙論進呈　其他名士　本舖　大阪西區靱南通二　森田商店

汽車
[illegible]

第廿七回 新學期開講

會員募集

大日本國民中學會

創立十五週年最も深き經驗と不斷の努力に依りて通信教育の極致に達せる本邦唯一の模範的獨習機關

大正新時代の天地に立ちて一人前の人間にならんと欲せば何人も須らく中學校卒業の學力を要す。中學卒業の學力は現代に於ける成功唯一の基礎なり。

小學校を卒業して

「中學校に入ることの出來ぬ事情ある青年は躊躇する事なく大日本國民中學會に入會せよ。本會に入會すれば學校に通はず家業の傍ら僅少の學費を以て中學校の全科を完全に獨習することを得べし。本會講義錄は本邦唯一の模範的通信教員機關にして文部遞信陸軍三大臣の賛評を受くるの光榮を有せり」

◎拾五週年記念大特典提供す入會の最好機は今日也

本會に入會すれば

本會發行の四大講義錄

國民補習講義錄 / 中學正則講義錄 / 中學速成講義錄 / 高等科講義錄

■毎月二回中學講義錄の配布を受け、會長學監を初め諸師諸先生の懇切なる指導の下に講義錄に就て學ぶこと僅に一箇年半にして中學校の全科を學習し、完全に中學卒業の學力を修得することを得べし。且つ毎月一回有益なる青年雜誌「新國民」を配布せらる。

■中學講義錄は總ふりがな付口語體にして尋常小學校卒業の學力ある者は何人にも容易に解し得べし。萬一難解の箇所ある時は何時にても講師より質問に答へらるゝを以て學校に通ひ直接講師に就て學ぶと何等の異る所なく、最も愉快に勉學することを得べし。

■本會卒業生の實力は徵兵檢查官の報告等に依りて實地に證明せられ、卒業生はあらゆる方面より歡迎を受けつゝあり。都下私立三大學にては本會卒業生に對し各其の專門部特科に無試驗入學の特典を附與せらる。本會卒業生中學力優等品行方正の士には學資を貸與して更に高等專門の學校に入らしめ、更に篤志の士には海外に留學せしむる等の特典あり。現に海外留學中のもの數名を有す。詳細は會則に記載しあり。就て見るべし。

高等小學校程度、及び中等學校入學準備用として最も適當なる講義錄。卒業期限六個月。

文部省中學校令に據り中學全科を學習せしむる完全無比の最新講義錄。卒業年限一個年半。

特殊の事情ある人の爲更に一層短期間に中學全科を學習せしむる講義錄。卒業年限一個年。

中等學校卒業者の補習及び專門學校入學檢定受驗準備の爲發行するもの。卒業年限六個月。

講義錄見本 會則 無代進呈

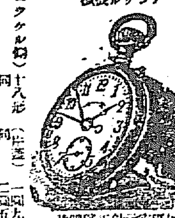
會長 正三位 尾崎行雄
學監 文學博士 遠藤隆吉
理學博士 山內繁雄
學事顧問 三宅博士、浮田博士、岡田文相、和田垣博士、新渡戶博士

東京神田駿河臺(お茶ノ水電車通)
大日本國民中學會
電話本局 三〇〇二番 三〇〇四番 三七〇七番
振替口座東京四二〇〇番

わきが

にて今迄彼是と他の藥を用ひ効なき方は ファーザーを御用ひあれ 藥價六十錢 一圓
京城黃金町三丁目 電話二九四九 山田文殊堂藥房

新荷著
スイス製 アンクル設 懷中時計



(ニッケル側)十八形(片蓋) [illegible]

[illegible]

右は今回新着の商品にて本商會獨占の品にて他に類なき品に御座候 地方よりの御注文に對しては代金引換にて御送付申上候

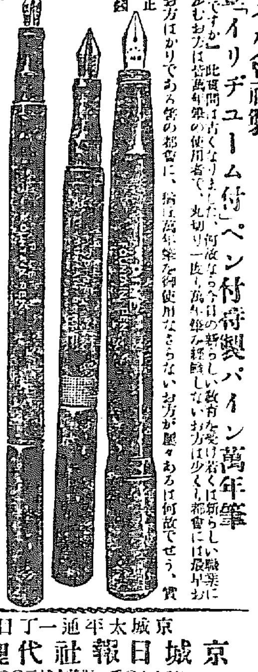
時計、蓄音器、ミシン機械、自轉車、洋酒各國貨直輸入商
イングレッシー商會
本店 京城本町二丁目 電話九七二番

THE "PINE" PEN

紐育ビュメル會社製
正十四金「イリヂューム付」ペン付特製パイン萬年筆
(イリヂューム付は三倍の耐久力を有す萬年筆)

「あなたは萬年筆をお持ちですか」此質問は古くなりました、何故なら今日の新らしい教育を受け若くは新らしい職業に從事し、又は新しい進歩を歩むお方は皆萬年筆の使用者で、丸切り一度も萬年筆を經驗しないお方は少くも都會には最早お一人もありますまいが少くとも一度は經驗したお方ばかりである筈の都會に、猶ほ萬年筆を御使用なさらないお方が屢々あるは何故でせう、[illegible]

短軸安全インキ止式紳士向 四圓九十錢
安全インキ止式實用向 三圓八十錢
安全插出式紳士向 六圓八十錢



京城太平通一丁目
京城日報社代理部
電話六〇〇番 振替京城三〇〇番

淋病內服新藥 リヨール

下山藥學博士、慶松藥學博士、[illegible]、笹川醫學士、加藤獨逸醫學士、山田獨逸醫學士實驗の結果理想的治淋劑と確定せる

▲本品は[illegible]
カタル、尿道炎、睾丸炎、腎臓炎、膀胱炎、消渇其他一般急性慢性淋病に偉效を奏す
[illegible]
說明書無料贈呈す

○到處藥舗に販賣
發賣元 東京日本橋區蠣殼町十一番地 リヨール商會
關西代理店 大阪道修町 田邊五兵衛

MITSUWA HAIR LOTION.

Apply a few drops of the lotion after washing your hair, you will at once notice the delightful sensation of keeping your hair clean, sweet and healthy. It has a faint, yet delightful smell. It is the best lotion known to remove dandruff, stops scalp itching and prevents hair from falling.
Price 50 Sen and 80 Sen.

EAU DE FLEURS

made from the best materials by a perfect chemical process, has a delicate and exquisite fragrance. The application of this Mitsuwa Lotion to your underwears, towels, handkerchieves, sheets or water when washing or bathing, will be charmful and quite refreshing.
Price 45 Sen and 70 Sen.

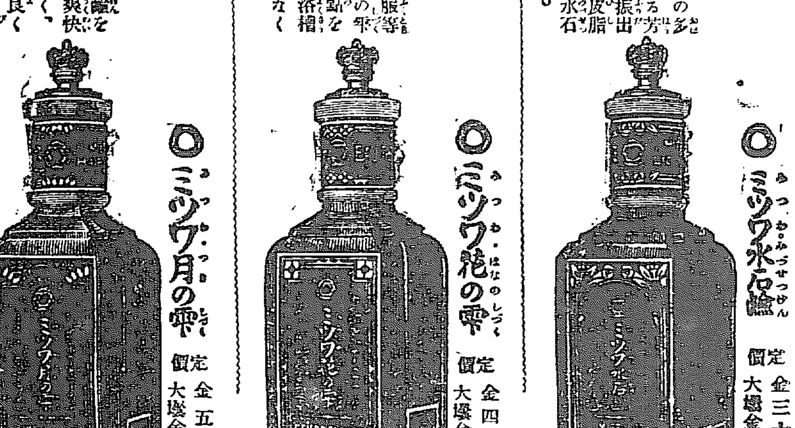
MITSUWA LIQUID SOAP.

The very best materials of exquisite fragrance are blended in Mitsuwa Liquid Soap. It refreshes, invigorates and delights as no other soap can. It makes the skin soft, smooth and beautiful whilst it does not injure even the tenderest of skins.
Price 35 Sen and 50 Sen.

■馥郁たる芳香を有する理想的純良化粧用水石鹸
○ミツワ水石鹸
從來の普通水石鹸には刺戟甚だしく皮膚毛髪を傷ふもの多きに反し、此ミツワ水石鹸は優秀なる原料と馥郁たる芳香料とを以て精製せられ、洗滌に際して随意に適量を振出すことを得、他人の使用せる後にも些の不快を感せず、皮脂の分泌多きに而も皮膚粗糙なる本邦人の理想的化粧用水石鹸として、生彩ある化粧を施すに最も好適のものなり。

■芳香馥郁たる家庭用肌着香水オー、ド、フラール
○ミツワ花の雫
從來の家庭用香水には徒に強烈なる香を放ち、手巾衣服等に振掛くれば汚點を殘すもの多きに反し、ミツワ花の雫は人を魅するが如き床しき温雅の芽香を有し、毫も汚點を殘すなく肌着、手巾、寢具の敷布等に振掛け、洗面盤浴槽等に用ふれば、清涼の感を得ること、本品に優るものなく各家庭に常備すべき優良なる家庭用肌着香水なり。

■毛髪の營養料頭髪用衛生香水ヘーヤ、ローション
○ミツワ月の雫
優良なる品質を具備し、毛髪の衛生に適するミツワ石鹸を以て毛髪を洗滌せる後此ミツワ月の雫を用ふれば、爽快の感を得、毛髪の發育を助け、毫も之を傷め害ふことなく、色澤を艶美ならしめ、脱毛及雲脂の過度を防ぎ、營養を良くするに特効ある美髪料なり。故に毛髪の衛生に留意し、美髪を欲するものには、實に理想的の營養料頭髪用香水なり。



○ミツワ水石鹸 定價 金三十五錢 大壜金五十錢 (現品縮寫圖)
○ミツワ花の雫 定價 金四拾五錢 大壜金七十錢 (現品縮寫圖)
○ミツワ月の雫 定價 金五十錢 大壜金八十錢 (現品縮寫圖)

ミツワ石鹸 ミツワ家庭藥

東京市日本橋區橘町四丁目 振替東京七一〇番
丸見屋商店
營業部電話特別浪花三〇〇・四八四・九四四・五〇〇番

京城日報
三月十八日（夕刊と合せて八頁）
定價　一部金二錢五厘　一ヶ月金五十錢
發行所　京城太平通一丁目　合資會社　京城日報社
發行兼編輯人　奧田直毅　印刷人　小川三之介

第三版

▲㊦能く賣る　今後當局店より賣りたる玉數八千餘
▲㊥能く賣る

京城講壇

我が國の三大要務

露無文治

東西古今治亂興亡の歴史を繹ね、想ひを我が日本帝國の上に回らす時、予輩は常に我が國が、國家として、又國民として人類最高の幸福を享受せんが爲めには、三個の重大なる要件を整備するに努力せねばならぬことを感ずるのである。特に現代に於て最も痛切に感ずる次第である。三個の要件とは何ぞや。順を逐うて述べて見たいと思ふ。

第一の要件は實業の振興である。現今我が國の實業界は必ずしも睡眠狀態に在りとは申されぬ。殊に最近數年來の急激なる進歩の跡は之を十年前二十年前に比較する時は全く隔世の感も啻ならざるものあることは予輩の喋々を待たざる所である。然し乍ら之は我が一國內の經過に關して沿革的に觀察したる場合のことに過ぎない。若し之を同期間の歐米各國に於ける日進月歩の狀態に比較する時は、我が國の進歩の如き尚ほ微々たるものなることを知ることが出來るのである。我が國では創世建國の始めより農を以て國の基として居る。中世封建制の下に在りても所謂士農工商で、農は士に次ぐの社會的位置を占めて居つた。今に於ても當局者が農事の改良と奬勵とに力を極め、其結果として近年に於ける米麥を初めとして一般の農産額激増の狀を呈するに至れることは、邦家の爲め喜びても餘りある次第である。殊に予輩の朝鮮の地を踏みて切に感ずるの一事は、朝鮮の地味が甚だ痩せて居つて、加之多年荒廢に委してあつた爲め、全く將來に望なき土地であるかの如く傳へらるるに拘らず、實際に於ては、地味必ずしも劣等といふべからず、恰も無限の財源が秘め置かれて、一に開拓者の努力に待たんとするの狀あることである。成るが儘に放棄されたる過去の朝鮮より推して、將來を判斷し悲觀的の觀察をするが如きことあらば其誤れることを信ずるものである。先日予輩は釜山通過の際に、埠頭に於て、運輸事務に鞅掌しつゝある某氏より『最近に於ける釜山經由の貨物は之を三四年前に比して更に二倍以上に增加せり』と語るを聞いたのであるが、其增加の原因は單純ではないであらうと思ふけれども、兎も角も、朝鮮に於ける農産額の激增が重なる原因の一たることは否むことが出來ないのである。歐洲戰亂に於て食糧の多寡が交戰國に在りて運命的關係を持つて居ることは明白の事實になつて居る。如何に農業の重要なるかを知るのである。併し我が日本の如く地面の割に人口の多き四面環海の國に在りては、商工業も輕視することは出來ない。日本を以て東洋の英國と稱するは新しい話ではないが、予輩は曾て濠英中某英人の問ひに對して、日英兩國は、世界の耳なりと答へたことがあつた。英本土の面積は比較的小くとも、よく世界要求の聲をきゝ、何れの方面にも最善の供給を與へなくてはならぬ。英國は商工業を以て國の基として居る。英本國は特に工業を主として居る。ロンドン、グラスゴー邊の工業地には日曜の外は煤煙の爲めに晴天を見ることが出來ない有樣である。或る都會の如きは工場が起つて後ち初めて市となつたといふ例もある。世界各國の原料を輸入して加工し、また其要求に應じて供給して居る。英國の大なる所以は之である。我が國に於ても、海運、水力電氣、低廉なる勞銀等其天惠を利用して所謂『見本の如く造れ』との格言を實行して粗品亂製の弊を戒め以て工業の發達を望む次第である。

第二には敎育である。國民敎育に重きを置かねばならぬ。勿論我が國現在の國民敎育及び其機關の普及に於て、兒童の就學率に於て、決して他國に劣つては居らぬ。然るに高等敎育も年々隆盛の狀を呈して、其學生の數も著しき增加を見つゝあるに對して、中學以上の敎育機關が不足を告げつゝあるは、遺憾の次第である。現に朝鮮に於ても此現象あるを免れず、本年の京城中學校入學試驗に際して、志望者五百餘名に對し、入學し得るものは二百に過ぎないといふ有樣であつた。三百名の選に洩れたるものにして、充分に學力ありたるものも少なくはなかつたらうと思はれる。一度此等の選に洩れたる學生の身上となりて考へて見ると同情に堪へない事情が少なくあるまいと思ふ。第一に選外の學生に於て將來有爲の人物たる素質を備へたるものが何人居るか知れない。第二に將來の向上發展を望みつゝ勇往邁進しつゝある少年學生の元氣を阻ぐこと幾千たるを知ることが出來ない。又之を其家庭に取る時は、父母兄弟の落膽は申すまでもなく、中には、其子弟が選に洩れたるを悲觀して、自暴自棄の考を抱き早まりたる所爲にでも出づることなきやとの憂慮をさへ爲したる例が少なくない。此種の悲慘事は近來頻發し居るのである。之は朝鮮ばかりではない。內地に於ても亦然りである。之に應ずるの道は學校增設の外にない。固より經費問題である。無制限の增設を爲し得ないのは明である。然し乍ら敎育は人間を作るのである。文明の利器といふも人間ありてのことである。國家の基である。他の經費は割いても先づ以て敎育機關の增設が望ましいと思ふ。[illegible]獨り政府當事者のみならず世の富豪の一考を煩はしたいのである。米國に於ては官立と私立とが相半せる狀態に在る。大學の如きに於ては寧ろ私立に盛大なるものを見る。

第三には宗敎々育である、之は大に高潮したいと思ふ。現今の敎育は智、德に限られて居る。昔から宗敎は重んぜられて居る。宗敎は閑却されたやうで實は重んぜられて居ない。或る本の人間の嗜好といふ條に『小供はでん〳〵太鼓、青年は配偶者、既婚者は富、老年は澁茶と念佛である』とあつた。即ち宗敎は老人の仕事となつて居た譯である。又一には從來の宗敎が現代の人心を支配する力がなかつたのも原因である。今日の如く宗敎の混亂時代に於てはたとひ敎育上宗敎は必要であるとしても若しある一宗一派を採用すれば自然他の宗派と衝突し混亂をして一層甚だしからしむる怖がある。故にしばらく之を除いた方が無事であると考へて居る識者もある。米國でも官立では此事を考へて居る樣である。官立としては或る一派の宗敎を採用するといふことは出來難いから已を得ない點もある。然し之が爲めに宗敎々育が不必要であると考へるのは大なる誤である。兒童には智性もあり、情緒もあり、意志もあり、良心もあり、亦宗敎性もある。然るに其宗敎心だけを捨て置いて開發の道を講ぜられぬのは一大缺陷であると思ふ。我が國に於ても此缺陷に對する觀念が深くなりつゝあるは悅ぶべき現象である。宗敎々育上の注意は迷信を避けしむることである。迷信は全く人を愚昧にする。人に安心立命と無限の向上心を與ふるに反して人心を亂し腐敗墮落に陷らしむる恐がある。故に吾人は正しき宗敎信念を涵養し以て人間敎育の本旨を完うせねばならぬ。かくて各個人は互に相敬愛しつゝ社會的生活の幸福を增進して行くことが出來る、個人然り、國家亦然りである。卽ち個人に於て他の個人の存在を認めて相敬愛するが如く國家に於ても他の國家の存在を認めて相互に幸福の增進を期せねばならぬ、此所に到らしむる最も力ある途は世界の創造者人類の天父に對する渇仰の念を高め強め擴めて人類が平等に其子なることの觀念に導くに在るのである。之に因て個人相互間の親交を增し、國家相互間の平和を進め得ることを信じて疑はない。此意味に於て健全なる宗敎々育を尊重したいのである。以上の三拍子揃つて國家は安泰を得べきである。

●前週京城講壇（朝鮮より見たる地籍整理）中正誤
○二欄初より二十一行『踏査を遂げたる』の次に『上一切の土地所有權及疆界は』を入る
○四欄終より七行『未だ確定』を『未確定』とす
○三欄初より十八行『隣郷に屬する』以下を『城外の龍山面、漢芝面、崇信面、仁昌面及豆毛面の一部も市街地たる京城府に云々』とす
○六欄初より五行『四年の』を『同年の』とす

高麗人蔘の今昔（五）

總督府技師　富家正義

（ロ）白蔘製造職工賃　政府の收納に適せざる水蔘は耕作者に還付し之れを一定の場所即ち蔘業組合共同白蔘製造所に於て政府監督の下に悉く白蔘に製造せしむ茲に使用する職工は昨年度に於て延男女合計八萬五千餘人此賃金二萬四百餘圓なり以上紅蔘製造作業のみに從事する職工の賃金は實に二萬八千九百五十餘圓にして僅々四箇月間の所得として[illegible]市內外に下層社會の金融上頗る潤なる狀態を呈せしめたり

（二）蔘圃材料　蔘圃に使用する材料は主として日覆に用ゆるものにして直徑二三寸長四五尺の松及び栗材と葭製の簾其他藁繩等にして春季新設蔘圃三十餘萬間と既植各年根百餘萬間に對する補足用として毎年使用する數量少からず而して此の用材は蔘圃所在地の各山の方面より、簾は主として河濱の農民に、藁は京畿道高陽郡一山、坡州郡汶山附近にある河濱の農産之れを編み供給せり又繩の如きは作業として何れも附近の農家各戶に於ける副業として生産せしむるものにして材料費は多くは前年秋末頃より供給者に前金を渡し調製せしむるの習慣なり毎年此等材料費は大約七十餘萬圓なりとす以上記載せる勞銀及び各材料費等を概算すれば一箇年の金額は實に百十餘萬圓にして昨年度に於ける此等諸費の內譯大約左の如し

（イ）耕作使用人夫賃	三五六、六四六、六五七
（ロ）白蔘製造職工賃	二〇、四〇五、二二〇
（ハ）蔘圃材料費	七五〇、四三二、一九六

尙ほ此外每年製造期間政府より職工賞與として諸請負者に下付すべき金額あるを以て昨年の如きは之れに賠償金等を加算する時は開城地方に入る政府より下付せる水蔘賠償金と白蔘賣買金額は無慮二百餘萬圓に達す之等の金額は直ちに上下一般に融通せらるゝものにして高麗人蔘の消長如何が地方經濟に及ぼす影響著大なるものあり（完）

日報詩壇

○客中郊行　竹田燕雨
霽雪霽雲一膜斜。笑騎銀鞍探出家。有計游驄忘日暮。飽看東村玉枝花。
評曰　宛然羅稚子畫幅

○春雪　渡邊凌雪
柴門白有白雲封。一朵紅梅呈笑容。偷料夜深寒十層。抗看老筍餌氣濃。
評曰　淸麗峭勁、併成好句

□汴洛線車中より

韓相龍

拜呈昨夜有名なる黃河を渡り鄭州に到着致し、驛にて日本人の有無を問ひしに居人曰く一人ありとの言葉に頗る懷かしく存じ同人に同行を求め從門を叩きしに豈圖らんや日本人に非らずして鐵道員たる佛人に御座候一笑を含み支那旅館に投宿し本日汴洛線にて洛陽に向け行路中に候洛陽は經濟上に於ては一文の價値を認むべからずも古蹟に於ては頗る趣味の多き處に候周公廟を此に定め周平王東に都を遷せし處に御座候汴洛線の沿路は比較的山多し然るに山には樹木は勿論草も全く無之頗る不愉快に候山腹には處々穴多く古人の穴居せし處にして今猶盛に穴居する樣子に候沿路は支那西部偏僻の地にて交通斷絶せる困難の處に候然るに今や鐵道通じ北京より一日の行程に過ぎず候文明は天險より結局勝利を得ると雖も史蹟と詩興とは之に依り一大打擊を被らんかと存候　呵々一笑

諸君は如何にして世界の大舞臺に活躍せんとするか。須らく雄辯家たれ
最新模範式辭及演說
本書は此の類の出版物の多い中に全く嶄新の一鶴と謂つた樣なものであるその作例の新しいのと題目の豐富といふことに就いては本書の右に出るものはない。こゝに演說の部にをいては政談演說あり學術講演あり宗敎演說あり修養演說あり各方面に於ける雄辯を集めてある。
特價一圓廿錢　紙數五百五十頁　送料八錢
發賣所　東京芝區三光町二七三　振替東京三〇五二四番　大日本勸學會

東京　古屋善平　ユニオン化粧品部
カユミ止　ユニオン香水　フケトリ
京城本町　代理店　塚谷出張店　電話一三六番

四月號出來
少年世界
□珍妙な川渡し　横山博士
△連載小說　怪獸か妖獸か…僕の自白／疑問の寢室…森林王／怪賊ガゼット…巨鑑の響
□突飛太郎（お伽小說）巖谷小波
△少年火夫…（寫眞小說）
□判官都落（歷史小說）宮崎一雨
△警察署より鐵工場へ　大堀文如
□深山幽谷の七夜　島原幽
□今年度の中學試驗入學答案書方　全國都市中學校
定價十二錢　郵稅二錢

少女世界
□辨天城（お伽小說）巖谷小波
△巡禮お園…（寫眞小說）四條英子
△人外境の黃金窟（冒險）
△少國民…（活動寫眞）
□つみ草物語　一、二、三
□パン屋の娘…沼田笠峰
△少女の爭ひ（小話）宮島萬里
△愛の光り…（童話）井上惠以子
△春のめぐみ…（對話）
□秘密の函（小說）岩崎史郎
一、文子さんの憂…佐野梨塚子　二、豆の葉…瀨川もと子　三、まんさくの花…村岡たま子
東京本町　博文館　振替東京二四〇番

財團法人　電機學校
電氣化學科特設（晝間）（夜間）豫科一期本科一期
生徒募集　■入學申込は來三月末日限　■規則書は申込次第送付
東京市神田區錦町三丁目　電話本局七九〇、五一三〇
校外生（特殊の通信教授）（普通の通信教授）講義錄出版　隨時入學許す

春季新學期　會員大募集
日本一の實際的中學校る
◎十五ヶ月卒業　■顧問　文學博士　大家名士十數名　■學監　慶應義塾中學部長　川合貞一　講師　慶應義塾講師　理學博士　岡村周諦
大日本模範中學會
●中學校に入らぬ者は速に本會へ入會せよ　本會講師は都下官公私立各中學に敎鞭を執らるゝ博士學士專門敎授大家卅餘名
見本無料にて贈呈（寫眞版三色版數葉入五十頁）會則
東京神田三崎町　電話本局五一二一九番　振替東京二九四七〇番

新學期　會員大募集
◎入會の好機　此際入會者に限り五大特典（提供獎學資金贈呈）
最新最良模範中學講義錄出づ
●會員には毎月五日廿日　中學講義錄　毎號二百頁を頒布し懸賞文募集機關雜誌　青年界　毎號全頁　贈呈
中學に入らずして業務の傍ら自宅で實際完全に中學全科を獨習せんと欲せば專門敎授の分擔講義せる本講義錄に限る
自宅で完全に立派に中學校を卒業し得らる

一ヶ年卒業　實業講習錄

新學期開始二會員大募集
小學卒業生は誰でも直に習はねばならぬ
實用速成書翰文習字　一字一句實用的習ひつゝ役に立つ
總裁　大隈侯爵　副總裁　澁澤男爵
顧問贊助員は悉く天下一流の學者及諸方名士
今度講義全部大改良の上に、書翰文習字の大附錄を添へて日々使はれる手紙の文例を示し一一手本をつけて習ひ易く分り易く說明す。
▲出世の土臺となる學問は此れ
世の中に出るには誰でも知て居なければならぬ學問と他人と競爭して負けない處世の秘訣を講義す……
●只今入會者の特典
▼水書草紙進呈（習ひ易く上達早し）
▼入會金免除（只今に限り免除）
▼獎學資金提供（一等卅圓其他種々）
●其他種々の大特典あり見本を見られよ
●見本無代進呈　ハガキか電話にて申込次第送呈す、速かに申込まれよ。
自宅獨習學科目　△商業簿記　△銀行事項　△商事要項　△商業英語　△商業作文　△株式數學　△商業算術　△珠算暗算　△商業實務　△經濟地理　△實業講話　△商品讀本　△實業習字　△處世文學　△實業法
會費　一ヶ月分五十錢　二ヶ月分一圓　六ヶ月分二圓八十錢　一年分五圓五十錢
東京京橋南紺屋町實業之日本社　帝國實業講習會　振替電話京橋　四〇九八　一〇八七　六九六

○汪特使勳章親書捧呈

十六日入京せる支那特派大使汪大燮氏は十七日午前十一時五十分同國最高勳章並に黎大總統の親書捧呈の爲め儀裝馬車に搭乘島村騎兵中尉の指揮せる近衛騎兵一個小隊の警衛にて霊南坂官舍を出で二重橋より参内戸田式部長官の誘導にて西一の間に休憩し天皇陛下には波多野宮相、内山侍從武官長、鷹司侍從長以下の諸官を隨へさせられ鳳凰の間に出御あらせらるゝや汪大使は再び戸田長官の誘導にて章公使同伴謁見仰せ付けられ恭しく大勳章並に黎總統の親書を捧呈したるに陛下には御機嫌麗はしく御受納あり深厚なる謝意を宣はせ給ひ次で隨員一同に謁見仰せ付けられ大使は引續き隨員を隨へ大森大夫の誘導にて桐の間に進み皇后陛下に謁見貴重品を捧呈の後別殿に於て鷹司侍從長より傳達の勳一等旭日桐花大綬章を佩用隨員も夫れ〳〵贈勳の御沙汰あり一々拜受し豊明殿の御陪食に列し退出せり(東京特電)

露國政變

▲新政實施と皇帝復位

露國今次の革命は大戰爭を進行せしむる上に於て何等支障を來するものに非ず又退位されし皇帝は新政實施後或は復位せられ給ふ可しと傳へらる(哈爾賓電報)

▲露勞働黨各所に集合

露國にては食糧問題解決の爲め勞働黨各所に集合し革命新政府に對し之れが解決を要求中なり尙任聖彼得堡、莫斯科兩市共擾亂繼續中なり(哈爾賓電報)

▲ミハイロ大公攝政報告

ボナー、ロー卿は英國下院に於て露國皇帝退位しミハイロ大公攝政に任ぜられたる旨報告したり(紐育電報)

○米政府の深謝

華盛頓來電＝日本政府は故米國大使ガスリー氏の逝去を軍艦にて送附せん事を米國政府に申出でたるに米國政府は日本政府及び人民が故大使に對し禮を表するものとして深く謝意を表し之を承諾したり(紐育電報)

○支那特使叙勳

天皇陛下には十六日入京の汪支那共和國特派大使に左の通り叙勳の御沙汰ありたり(東京特電)

支那共和國特派大使 汪大燮
叙勳一等旭日桐花大綬章

猶隨員九名に對しても亦夫れ〳〵叙勳の御沙汰あり又駐日支那公使に左の通り御沙汰ありたり

本邦駐剳支那共和國特命全權公使 章宗祥
叙勳一等贈與旭日桐花大綬章

○日支聯絡會議

來る四月二日より東京に於て開催すべき第五回日支聯絡會議に列席すべき支那側委員は交通部參事王景春同參事吉伊賓氏等にて議案の重なるものは乘車券に關する件、貨物取扱手續に關する件、手荷物保税輸送の件、小荷物聯絡輸送の件等なりと(東京特電)

○村田中將薨去

陸軍中將從三位勳三等村田惇氏は肝臟炎にて東京市四谷區仲町の自邸に於て療養中なりしが胃腸の疾患併發し十六日午後九時終に薨去せり(東京特電)

○岑春煊氏歸國

別府に療養中なりし岑春煊氏は十七日門司發郵船熊野丸にて上海に向ひたるが其の談に曰く『支獨國交斷絶は余の大に賛成する所なり尙復辟問題は予等の全然關知する所に非ず云々』氏の歸國は家事上の都合に依るものにして何等政治的意味を有せずとの事なるが十四日氏の許に到著せる電報は官邊よりのものらしく上海到著後直に北京に上る可き模樣なり尙氏は日本の櫻花を見ざるは殘念の至りなれば何れ近き將來に於て再び來遊すべしと語れり(門司特電)

○辭令

十七日左の如く辭令ありたり(東京特電)

文部省專門學務局長從四位勳四等 松浦鎭次郎
東京帝國大學教授文科大學教授從四位勳四等 文學博士 服部宇之吉
陞叙高等官一等(各通)

○調査委員任命

關税調査會委員は三月十六日附を以て左の通り任命ありたり

朝鮮總督府度支部長官 荒井賢太郎
同 農商工部長官 小原新三
同 土木局長 持地六三郎
同 參事官 秋山雅之介
同 事務官 久水三郎
同 技師 村田素一郎
同 事務官 有賀光豊
同 同 人見次郎
同 同 荻田悦造
同 同 青木戒三
同 同 河内山樂三
同 同 生田清三郎
同 同 水口隆三
同 參事官 藤田嗣雄
同 事務官 平井三男

關税調査委員を命す(各通)

●株式界と鮮銀株

朝鮮銀行の新株十萬株中舊株主割當七萬株を除く三萬株の公募は屡報の如く內鮮共に盛んなる人氣を以て迎へられ各店共十七日を以て締切れるが其の結果は東京支店內增資係にあらざれば判明せざるも恐らく應募五六倍の多數に上り居るべし何故に斯く人氣を鍾めたるやと云ふに最近の株式市場は昨冬獨逸皇帝の講和提議以來概して沈靜を持續し所謂人氣株に對する資本家の所見は頗る消極的に堅實に趨むけるも一方民間に充溢せる資金は何處へか其の出所を求めんとしつゝあり之れ確實なる株式に對する投資の傾向を大に招致せしものと云ふべく鮮銀新株公募の盛況は其の一端の現はれとも觀ずるを得べきか更に今回は又若干權利株の買收に出でし向もあるらしきが兎に角プレミヤムの平均三十圓を超えし事は多く疑ひを挾むの餘地なきに似たり尙ほ京城本店にては大口の申込みは少なきものゝ如く受附總數は公募數の約一割見當なるべしと

●東拓所長會議終了

十三日以來開會中なりし東洋拓殖會社各出張所長會議は十七日石塚東拓總裁の訓示を以て終了したるが各所長は二十日迄滯京各部課に付事務の打合せをなし二十一日頃より其々歸任すべしと

●石塚東拓總裁の訓示

出張所長に對し＝今後の東拓經營

不肖襲に本社總裁の任を承くるや次で亦重役の交迭を見たり玆に社業の進展を企畫し施設の改善を實行せむとするに當り始めて各位を會同して業務の管見を聽取し併せて今後の方針を開示するを得るは最も欣幸とする所なり

▲東拓の使命 由來本社の使命は朝鮮の拓地殖民に在り創立以來玆に十星霜其の間各般の業務概して順調なる進捗を遂げ駸々として經營の歩武を進むるに當り更に時勢の進展は本社をして從進で其の業務を擴大せしむるの機運を促進し之れが爲め政府は近く本會社法に必要なる改正を加へらるゝに至るべきを信ず玆に各位多年の拮据奬勵を多とし更に將來の進運に必要なる事業の實施經營に關して一層各位の奮勵努力に倚頼せむと欲す

▲職制の改正 凡て業務の振張は職員の編制宜きに適ひ職務の分掌當を得て各部局の統一を保持すると共に常に上下相倚り相信じ各部心を一にして力を協せ以て利害痛痒を共通し克く一體としての機能を發揮せざるべからざるや固より當然の事に屬す本社改革の第一歩に於て先づ職務章程を制定して職員の編制職務の司掌を明確にし併せて職員給與規程を改正して經費の容す限度に於て職員優遇の方法を現實せるもの全く以上の旨趣に存す各位克く此の旨を體して部下を指導統率し恰も出張所なる一家は所長之か家長たり所員之が家族たるが如き情義を保ち常に宗家たる本社の利害休戚を念とし誠意誠心社業に力め其の間忠實勤勉の社風を樹立せむとを要す更に進て業務の施行を簡捷敏活ならしむる爲め或は委任權限を擴張し或は業務取扱方法を改善する等目下調査審議中に屬するものは今後著々之を實行して社業の刷新改善に資せむことを期す

▲事業の經營 は常に時運の進展に鑑み[illegible]せしむるを要す將た營業利益の增進を得むが爲めには一事一物の微循細密周到の注意を以て之を處理し支出を節し收入を增し以て當面の損害を打算するを要するや言を俟たずと雖も又克く大局に着眼し公利公益の增進に寄與せむことを期し徒に目前の利害にのみ拘泥せざらむことを要す今や農業の改良著しく進歩せるを以て土地の管理に就ても幾多改善を加ふるの必要あるを認む即ち當時に於ける幼稚なる農耕法の遺物たる打租並に執租の方法に依る小作慣例の如きは之を將來に繼續せむか或は肥料の施用の爲めに或は農業土木の爲めに資本の投入を必要とする改良事業は地主小作人間に於て著しく利害關係を異にするを以て其の改良の效果多大なるに拘らず猶之が遂行を躊躇せしめ前途の阻碍甚だ大なるものあり將た租穀徴收の如きも交通の利便發達し貨幣經濟の進歩せる現時の狀勢に照し必しも多大の勞銀を要する物納の慣行を墨守せざるべからざる乎二者共に愼重なる攻究を要すべきなり其の他優良種子の普及に伴ひ肥料の施用を獎勵し之に必要なる資金を供給して收穫の增加を圖る等農業の進歩に伴ふ殖產の施設二三にして止まらざるなり而して皆是れ產業の發達に資すると共に又本社營業の利益を增進するの施設たらざるはなし宜しく利益を秋收の結果にのみ求むるを戒め深く其の根蒂の培養に著目努力すべきなり若し其れ廢耕地を起施して新に利用を開き簡易なる土木を施して更に利用を增進し又散點せる土地を整理して其の管理に便ならしむる等常に周密の注意を拂ひ實地の狀況に應じ必要なる施設を遂行し苟も土地管理上遺漏なからむことを要す

▲農事改良と水利 近年農事改良の施設著々其の效果を奏するに伴ひ急切なる需要を喚起せるものは之を灌漑水利の業と爲す就中稻作に[illegible]を驅逐し去らむとするの盛況に達し改良種の普及は肥料の施用を促進し肥料の施用は之に對し投じたる資本の效果を確實ならしめむが爲め稻作の根本要件たる灌漑の利便を具備せむことを慾望し今や灌漑水利の企業翕然として勃興の氣運を呈せり由來灌漑水利の業は農事改良上重要の地位を有するものなるを以て從來本社は政府の方針に遵據して或は本社自ら之を經營し或は起業者の爲めに其の計畫を援助し或は資金の供給を圖る等之が成立進捗に努力したり然りと雖も此等新設水利工事に加ふるに復舊せられたる堤堰洑｜の水利々用の效力を以てして猶之を全朝鮮の水田に顧みれば其一小部分の需要を充たすに止まり水利工事の新設は纔に其の端緒を開きたるに過ぎずと云ふべし是に於て本社は勃興せる各地の氣運に乘じて一層の努力を加へ一般起業者の爲めに實地の調査を行ひ計畫設計の進捗完成に貢献せむとす各位は宜しく之を諒し地方官憲の援助を求め起業者と協力して各地斯業の興隆を圖るべし

▲殖民事業 の健全なる發達は國家の要求に副ひ移住民の著實なる成功は鮮民の啓發同化に資するや大なり是を以て其の事業の舉否は固より本社營業の成績に關するのみならず亦以て國家の政務に影響する所鮮からず這般移住規則の改正を斷行せしもの之を既往の成績に鑑み將來の發達を期せむが爲のみ其の要旨は旣に頒付せる所なるも今最重要なる點を擧ぐれば移住民の招致を容易ならしめむが爲め第一種移住民に對しては移住費の貸付方法を擴張し一般に營農資金の供給を圖り第二種移住民に對しては一時拂込金及び利率を低減する等各種の便益を供與せり又移住後速に土地の所有權を移轉し土地に對する愛着の念を深からしめ利用改良の增進を期する爲め土地讓渡の方法を改正したり尙重きを部落の構成に置き散在的移住民を整理して集團的部落を爲し純農以外鍛冶、大工其の他農業兼營者移住の途を開きて部落の構成を助長し教育、衛生、交通上必要なる施設を整頓し若は其の施設を補助する等鋭意移住民の成功を圖り永住土著の基礎を安固ならしむることを期せり斯の如く移住後の保護を周到ならしむると共に其の募集を改め社員を派遣して內地農民に接觸せしめ其の素質の精選に留意し以て堅實なる移住民の招徠に努め鮮民啓發同化の實を擧げ殖民事業本來の目的を達成せむと努む然りと雖も殖民事業は到底之を營利上より打算すべからざるを以て動もすれば犧牲の提供を躊躇し爲に施設徹底せず保護周到ならざるの憾往々にして之なきにあらずと雖も朝鮮拓殖の使命を有する本事業の遂行に關しては苟も目前の損益、一時の利害に拘泥して其の施措を誤らざるを要するのみならず必要なる保護指導の施設を進行し常に懇篤誠實なる慰撫督勵を加へ勤儉產を治め業を樂み自立自營の域に達せしめむことを要す若し其れ濫りに保護に狎れ遊惰に耽り勤勉質實の風尙を柔るの徒に對しては假借なく解約の處置を加へて之が肅淸を圖り以て良俗美風の樹立發達を庶幾するを要す

▲拓殖資金の需要 は拓殖事業の發達に伴ひ其の供給は直接に事業の伸展を助成す本社拓殖資金の貸出年を逐うて增加の傾向を示せるは固より當然の順序なりとす而も之を近時著しく發達せる產業の趨勢に顧れば寧ろ猶及ばざるもの多く產業の開發上資金供給の努力未だ足らざるを認めずむばあらず殊に利率の低減を實行せるもの必しも戰亂の影響に基づく金融の情勢に因るものにあらずして又以て拓殖事業の發展を助成せむとするの旨趣に出づ又近く擔保物件の調査鑑定費の負擔を輕減して起業の利便に資し其の他簡便敏速の取扱を以て起業者の希望を容るゝに吝ならざらむとす各位は產業發達の趨勢に留意し著實なる企業の成立を援助し必要なる資金の供給を圖り以て益々拓殖事業の發展を助成せむことを努むべし

要之本社事業の經營は甚だ複雜にして各業務の統一を圖り營業全體の良績を擧げんが爲め今後幾多の釐革改良を要するものあり其の職責亦甚だ重大にして事に當り多大の犧牲を甘むぜざるを得ず其の存立の要件たる營業利益の基礎を確立するは前途尙多大の努力を必要とす而して此等施設の實行一として職員の手腕精勵に待たざるはなし各位は克く本社の現勢に鑑み部下の統率と訓練とに留意し各員をして心を協せ力を戮せて社業の發展に努めしむるを要す又克く本社の使命を自覺して常に營業上の利害を打算すると共に公利公益の爲め必要なる施措を完うし政府の產業方針に遵由して斯業の改良を企圖し起業の便益を供與して事業の發達を促し以て朝鮮拓殖の目的を全うせん事を期すべし

●短期兵入營期

大正六年度陸軍六週間現役兵の入營期は其の筋に於て八月一日と決定されたり

●秋山大將の張宴

秋山駐劄軍司令官は入京中の小田切政純少將を官邸に招待し十六日夜晩餐會を催したり

●石塚總裁招宴

石塚東拓總裁は所長會議のため入京中の各出張所長を主賓とし十七日午後七時より朝鮮ホテルに招待張宴せしが本社よりは川上高灘兩理事各課長秘書役等列席す

●鮮銀の所長招待

朝鮮銀行にては十六日午後六時より目下會議のため入京中の東拓各出張所長を主賓とし重役以下課長秘書役を招待花月に宴を張りしが銀行よりは三島理事以下幹部參列せり

●古海總長巡閲

古海警務總長は亥角警務官友脇野兩警視太田副官外五名を隨へ十七日午前九時三十分より昌德宮警察署を巡閲せり

●小田切少將出發

入京中なりし參謀本部附陸軍少將小田切政純氏は十七日午前八時三十分南大門發列車にて東上したるが停車場には高橋武官等見送りたり

●河內衣糧課長入京

曩に露國に派遣されたる陸軍一等主計正陸軍省經理局衣糧課長河內睦氏は歸朝の途次十六日夜入京二泊の上十八日朝出發歸東すべしと

●松平子爵歸鮮

東拓理事松平直平子は嚴父危篤のため東上中なりし所其後漸次快方に向ひし爲子爵も社用多忙に付歸鮮する事となり十六日夜東京出發歸任の途に入りしが途中下車の筈に付其の著京は十九日夜なるべし

●釜山海員試驗

遞信局海事課釜山出張所に於ては遞信局海事課長伊藤宏弘、同仁川出張所長伊東清七郎の兩氏出張し來り十五日より海員試驗を開始せるが受驗者は甲板部乙種船長以下十七名機關部一等機關士以下十三名にして十五日は體格檢査を行ひしに全部合格し十六日筆記試驗を行ひ合格者に對して十七日口述試驗を執行する筈なり(釜山)

人事消息

▲増田鐵一氏(東洋諸料會社支配人) 十七日夜入京南尾へ
▲神林啓太郎氏(咸興炭坑員)▲土岐鍵太郎氏 十八日朝退京の筈
▲村田祈氏(三井金剛山鑛山主任) 同上
▲十時英三郎氏(陸軍少佐) 十七日夜退京
▲鈴木四郎氏(三井价川鑛山員) 同上
▲北尾榮太郎氏(石川農業會社取締役) 同上

■南言北語■

十一日以來の露國の政變は頗る大仕掛けのものだつたらしい▲大體に於ては親獨派の陰謀不成功に對して主戰派の反動的蹶起と見るが至當であり相な▲最一とつ云ひ換へると民黨派＝純スラブ派と官僚派＝親獨派との衝突である▲されば此の政變が意外に勃發したのではない事も判る譯になる▲昨年の大晦日の夜に彼の怪僧ラスプーチンを暗殺したなども山雨來らんとして風樓に滿つの概がある▲今度攝政になられたミハイロ、アレキサンドロウキッチ大公は千八百七十八年の御誕辰であるから三十九歲の働き盛りのお方である▲此の政變の爲め戰線に動搖があるなんて事はなかろう▲若し之れありとすれば獨逸に乘ぜらるゝ機會が出來ないとも限らぬ▲單獨講和なども無論出來る話ちやない此の革命の大立者たる下院議長ロヂヤンコ氏など民黨の統領である▲ロヂヤンコ氏の同志として同じく民黨統領であるミルコフ氏の如きは▲內相プロト、ポポフ氏が瑞典の大使館で獨逸の外交官と單獨講和を協議したと云はれた時なども▲議會で激烈に痛擊を試み果ては親獨派の賣國奴と罵倒した▲內相がミ氏を裁判所に渡さうとするとミ氏は毅然として『やるならやつて見よ實際だから仕方はあるまい』と怒號した事もあつた▲今度も此のミルコフ氏が外務大臣になつた以上單獨講和などはフンと鼻で笑つて取り合ふまい▲露國の革命も之れ丈けで濟ば結構だが今度また官僚派＝親獨派が頭を擡げて復仇と出掛けると當分騷擾は休むまい▲外に未曾有の大戰を控へ內に此の政爭あるは衷心露國の爲悲まざるを得ないのである

▲漱石居士追悼會 無佛、陳人
提來猫兒吞頭長。諷刺人間語々罵。畢顛上行參得妙。托將遊戲見塵中。

各種萬年筆即時修繕
京城旭町二ノ六 東京パイン萬年筆出張所

高等 理髮開業御披露
今般各位の御引立に依り理想的の理髮店開業仕候就ては衛生と迅速は弊館の特色に御座候是非一度御試髮御來館の程希上候
京城南大門通(朝鮮銀行前)
高等理髮 尙美館 館主 淺井良輔

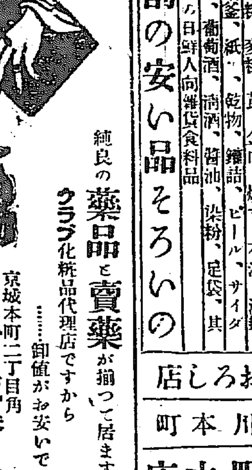
京城電氣株式會社製品 朝鮮瓦斯電氣株式會社製品 一手販賣
コールター 巴商行 樋口米太郎
龍山漢江通八番地 (電話四二四番)
石材販賣(但し採所持山) 同
眞鍮其他鑄造製作 同 工場
久保田鐵工所代理 神奈川電氣株式會社代理 同 支店
京城黃金町三丁目三四〇番(電話一四二五番)

私立 日本獸醫學校
獸醫科(高等小學卒業又は中學二年修了者無試驗入學) 蹄鐵工科、願書四月十日限
特典 徵兵猶豫卒業後無試驗開業、一年志願、文官任用、實業專門學校入學等
生徒募集 東京市外目黑 規則書要郵券二錢

鑛山用測量器械 京城篠崎本店

朝鮮諸官廳受驗叢書
京城專修學校教官 安達大壽計著
▲二月十五日發行 朝鮮六法要論 全一冊
▲受驗必攜 朝鮮行政法規大意 正續全二冊
▲朝鮮諸官廳受驗者必攜 會話譯文速成 全一冊
▲朝鮮諸官廳受驗者必攜 作文軌範 全一冊
▲高等普通學校教官 阪上綱吉著 朝鮮諸官廳受驗者必讀 法律問答 全一冊
以上一部定價金各四拾錢 送料各一冊金四錢
本受驗叢書は專ら朝鮮に於ける諸官廳受驗者の爲に著述したるものにして『在來提出せられたる各種試驗問題は勿論今後に於ける試驗問題として適切なる事項は全部之を網羅し而も當局者の方針に準り極めて懇切明確なる模範的の解答を施したるもの』なれば受驗準備書として最も適合せること到底他に其類を求むべからず、以て何れも發行以來嘖々たる好評を博し、凡そ受驗者として此等の書を手にせざるもの無きの狀況を呈せり、故に朝鮮總督府及所屬各官署に於て施行せらるゝ判任文官、判任見習、雇員、警部、巡査、看守其の他各種の資格並に採用試驗に應せんとする江湖の諸彥は、宜しく本叢書を座右に備へ、以て各受驗科目學修上の迅速と正確とを期し登龍門を開扉するの資格を一日も早く有し給はんことを。
發賣所 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

製造元とのやくそくで
砂糖、麥粉、寒天、金巾、燐寸、石油、洋蠟、鍋釜、紙、乾物、罐詰、ビール、サイダ、一、葡萄酒、清酒、醬油、染粉、足袋、其他ノ日鮮人向雜貨食料品
割の安い品そろいの
大おろし店 仁川本町 河野本店
電話二八番 振替京城一二一一番


純良の藥品と賣藥が揃つて居ります
クラブ化粧品代理店ですから……御値がお安いです
京城本町二丁目角 古城贊化堂
電話一〇二番 振替七三七番

資本金 貳千貳百七拾萬圓
積立金 壹千〇五拾五萬圓
株式會社 第一銀行京城支店
京城本町二丁目(振替貯金京城一一番)
支配人 西村道彦
銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候
內地滿鮮並に歐米樞要の地に爲替取引先有之候
明治火災保險株式會社代理店事務取扱申候

[illegible]附したり▲松元署長寄附 過般令[illegible]を喪ひたる松元仁川警察署長は賻料返禮に代へ金若干圓を仁川小學校基[illegible]錢で一先づ京城本部に送達すべしと▲穀物在庫數 仁川穀物協會の調査に係る上半月末の穀物在庫數は玄米一叺籾五[illegible]五百十九俵粉米[illegible]八十二叺黍百五叺蕎麥五十叺糯米三百叺豆三袋▲彼岸會法要 仁川寺町[illegible]何れ四月下旬頃よりなる可し▲釀停滯と當業者 朝鮮味噌釀造期に入り[illegible]物に對するのみならず鮮内輸送貨物に對しても常に不足を感じつゝ有る[illegible]たるも未だ貨物の運びに至らざる者の如ければ當業者は何れも貨車増運轉の一日も速かならん事[illegible]出席者は弘法[illegible]松原早藏、目賀田[illegible]平三郎、吉田登太郎、孫德宇、金秉[illegible]先の諸氏なり▲雜酒會 馬山府の釀[illegible]造業者は[illegible]長會[illegible]日上京せ[illegible]渤海灣の名産なる鰊漁は青鹽末より豫期以上の不漁にて當業者は失望の體なるがコハ昨冬以[illegible]たりと[illegible]會市の發展を企圖すべく[illegible]

●暗中の飛躍
露國革命の裏
▼飽くを知らざる反間苦肉の策
大膽巧妙なる計畫 ―露國通K氏の觀測

露國今回の動亂は其萌芽する處頗る遠く又極めて大規模に計畫されて居つた事は事實である殊に昨年十二月頃より其の計畫は著々と進捗して其の行動なども餘り秘密には行はれず一種の政治運動の形式の下に正々堂々の歩武を進めて來た『擧國一致の民衆政府を組織せよ』『貴族政治、寡頭政治を改めよ』『親獨派を驅逐せよ』『獨逸の操りより離脱せよ』『スラブ民族の爲めに力戰せよ』といふ聲は露國の都部に漲り亙つた而かるに露國政府は幾度の更迭が有つても依然皇族貴族を後楯とした親獨派が陰に陽に内閣の勢力を占めて居る二三の親獨派が失脚しても露國の内閣を組織すべき全貴族の間から親獨思想を拔き去る事は絶對に不可能である人民は其の同胞を獨逸の砲火に曝露し血を流し骨を摧きつゝあるに政府は獨逸と氣脈を通じて居る如き有樣では何んの爲めの戰爭であるかといふ聲が起つて來た

▼民間政治家は此の機運に投じて親獨的貴族内閣を倒さざるべからず

民衆を基礎としたる擧國一致内閣を組織し開戰當初の目的を貫徹せざるべからずと呼號した食に窮したる多數の避難民及び勞働者は所在に相應じて同盟罷工は各所に起つた、此の形勢を觀取した一部有力なる親獨派は種々の反間を放つて政府攻擊の煽動に努めた是は現下の反政府熱を煽り一大動亂を誘發せしめ其の收拾すべからざるに至らしめ全露國の分裂を與ぐが爲め止むを得ぬと云ふ口實の下に巧に聯合國を絶ちて單獨講和を締結せん一種大膽な暗中の飛躍だとも解せらるゝ節なきにしも非らず或る方面よりの聞き込みたる處に由れば

▼獨逸は和蘭諾威を經て昨年十二月中旬多數の運動費及小銃拳銃彈藥等を露國に輸入した形跡あり而して露都に於ては親獨派に非ざる眞に憂國の政治家及び政治に干係せざる地方の貴族等の間に於ても陰に聯合國と絶つて單獨講和を熱叫する者多く親獨派と連絡を取るに至らざるも嫌いに動亂を助けつゝあつたので今回の動亂は之等三種の目的を以て起つたものらしい

☘ネフスキイ、プロスペクト街

▲市街戰の慘禍
壯麗なるネフスキイ街の面目や奈何 ―露國通O氏の感慨―

あの壯麗な露都の市街が兵燹にかゝつたかと思ふと氣の毒でならぬ、露都の市街は東京などの如く土道は少なく多く

◇アスハルトまたは木道であつて

日本などとは比較にならぬ、殊にネブスキー街の大通りは道幅がわが一町(六十間)位ゐもあつて頃日では街上で練兵をやつてる處もあつた、また往來の雜沓は洵に繁昌を極めたもので日本に歸つて東京の銀座あたりを歩くと全く東京には人間が居らぬと心淋しく思はれる位ゐ、ネバ河の流れ冬宮の眺め初めての日本人には烏渡驚かれるものばかりである、昨今軍國的露西亞の特長とも見るべきものは第一馬車自動車等の乘物に乏しいと、第二

◇電車や汽車の車掌がすべて男の手から婦人の手に移つたこと、またレスラントの男給仕がすつかり女給仕になつたこと、また砲彈火藥の工場に婦人職工が占めたこと、市街の店舖に商品が乏しくなり、食料品店には何時も三四百人の人が長蛇の列を爲して順番を待つて居ること、市内に病院の多いこと、それに赤十字の病院に入つた負傷兵廢兵の多いこと、時々召集されて戰線に出征する軍人の通ると等であつた、あの思ひ出多き市街に悽慘たる革命戰が行はれるかと思ふと感慨に堪へぬ

●僞名の證書を濫發して
十數名より講金商品一萬餘圓の詐取
八年の間隱し通した本名

原籍山口縣大津郡深川村字正明市二四七番地當時平壤里門里三九番地菓子製造並に酒類釀造業を營む大住治郎吉(四九)は明治三十八年渡鮮し群山に一先づ落付き同年三月頃より群山全州間の貨物運送の請負をなし居りしが土地の

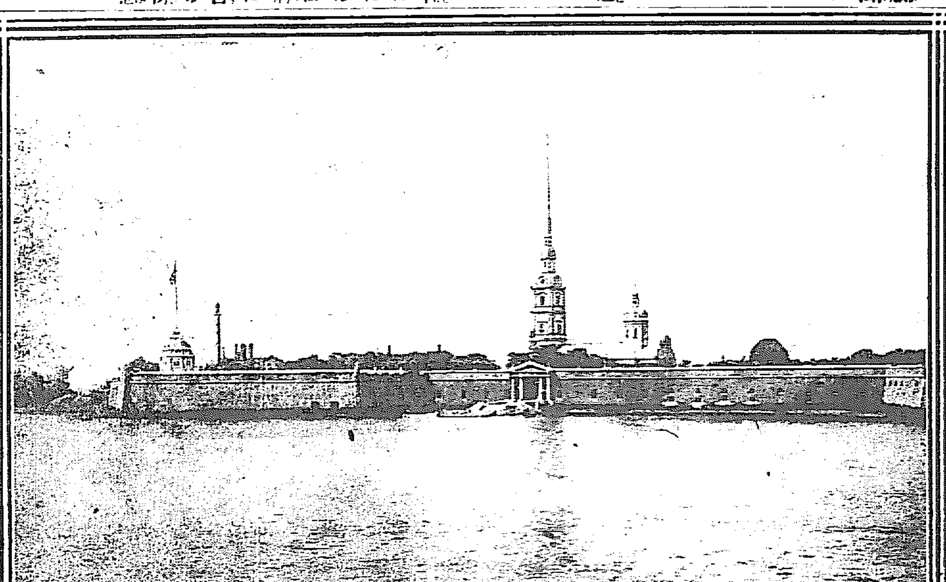
▲同縣人に信用 を博し資本金四五千圓を四五名の縣人より借受け手廣く營業しゐたるが四十三年頃失敗のため三月家屋商品を捨てゝ平壤に夜逃し來り前記の處に居を構へ高知縣香美郡吉川村三一番地平民増井富太郎(五八)と巧に本籍氏名を詐り大正三年七月煙草販賣並びに酒類釀造の免許を受くる際平壤府廳に僞名にて鑑札を受け昨年六月十六日平壤南門町印判屋西岡房一方に於て増岡富太郎と云ふ

▲實印を調製し 平壤府廳に印鑑證明及び居住屆をなし同九月平壤黄金町新野松次郎が幹事たる柳本某の千五百圓賴母子講を七百八十圓に競落し其の金を受取るに當り前記の僞名にて借用證書を差入れ該金を受領したるを手初めに本町金光教々會堂建立講六百圓本町濱田美七郎設立賴母子講三百圓櫻町川﨑庫之助の講金千五百圓本町木村うたの六百圓講等を前同樣の僞名證書にて

▲數回に競落し 其金を詐取し昨年中大同門通り貿易商河野支店より砂糖メリケン粉其他商品代總額三千四百七十四圓四十五錢を僞名約手を振出したるを手初に本年一月南門通り貿易商森久支店より商品四百八圓六十三錢を南門町美馬商會より商品六百六十五圓十五錢を同町貿易商廣田商會より六百三十九圓九錢を旭町山七商會より砂糖

▲メリケン粉代 五百九十圓七十五錢を大和町桑田支店より雜貨百二十八圓二十錢を南門町金琡得より商品百三十一圓二月中新倉里金芝根より商品百八圓一錢本月五日大和町大塚支店より清酒四十四圓十錢新倉里金漢德より商品八十三圓二十錢を何れも前同樣僞名不渡手形を亂發して買入れ其商品の一部は大同門通り齋藤久太郎支店に擔保として七百十圓を同店より騙取し本月一日大和町廣島彥七より金四百圓二月九日壽町國分重造より金四百圓二月五日本町平丈三郎より金百圓等を

▲孰れも僞名の 證書にて騙取總合計一萬餘圓の詐欺取財罪を犯したるを平壤署の寺田刑事に探知され三月八日引致取調の上十六日平壤地方法院檢事局へ送致となる


☘ペトロパウロフスキイ要塞

☘あゝ、ペトロパウロフスキー要塞
露都を壓してそゝり立つ冷たい高塔
河風寒し、閣僚監禁の城郭

ペトログラードの動亂に由り首相以下の内閣諸大臣の拘禁せられたるペトロパウロフスキー要塞はネバ河畔に在り冬宮と相對して居る此の要塞はペトログラード中に更に一個の城郭を成すの觀あり要塞内には露國皇室歷代の墳墓あり又ステッセル將軍其他國家に關する大疑獄の犯人は多くは此の要塞内に監禁せらるゝ事と成つて居つた此の要塞の砲口はネバ河を隔てたる對岸の冬宮に向かつて開かれて居る、然るに日露戰爭以後勃發したる露都の動亂の際要塞兵叛徒に與して冬宮に向つて砲火を注いだ事がある之れ以來皇帝は冬宮より現今のツアールスコエセロー宮に移り住まはせ給ふ事と成つたツアールスコエセロー宮はペトログラードから汽車にて三十分の行程を隔てたる處にありペトロパウロフスキー要塞は此の他に幾多の歷史と傳說とを有してゐる

●流彈に當りて死亡す
高田商會員、露國兵器廠にて

露國革命亂勃發の際偶々商用を帶びて兵器廠に赴きたる高田商會露都出張所員牧瀨豐彥氏(三六)は不幸流彈に當りて死亡せし旨同商會に入電ありたり(某所著=東京特電)

●獨探、露國内に多數の軍器を密輸入す

近著のノーヴレミヤの所報に由ればペトログラードの南方二里の地點に在る獨逸人經營の工場に關し怪しむべき風說傳はりたるを以て二月下旬露國官憲は同工場を臨檢したるに驚くべし同工場附屬の多數の倉庫によく密輸入し或は製造せる小銃彈藥及び各種の旗等充滿し居たりとの事なるが今回の動亂と思ひ合せ此の間に伏在する獨探の陰謀を想見するに難からずと某氏は語れり

●佛の前で本妻と妾が義姉妹
大邱の實子殺の減刑嘆願書提出

實子惣平(三)を殴り殺した大邱東城町金物商佐藤九平(五九)は南米大邱警察署に留置され傷害致死として取調べ中なりしが十六日を以て

▲取調終了 十七日朝事件は身柄と共に檢事局に送られたり佐藤方にては惣平の屍體は知人縣人等協議の上十五日午後六時假葬儀を營みたるが葬儀には母しよう及妾愛子は無論死者の外妾今岡うめも列し火葬場にて今や棺に火を掛けんとせる折柄うめは良心の苛責に堪へざりけん突如愛子に靠と抱き附き『妾は漸く夢が醒めました今までは妾が惡かつたのです何うぞ妾の罪は赦して下さい今後も決してお見捨てなく妾を妹として可愛がつて下さい、妾は貴女を姉さんとして敬ひ何事も服從しますから』と辭を掛け涙を流して懺悔したゞ此の懺悔に對して本妻愛子も同情を催し『今後は姉妹として互に愛し愛されませう是れも前世からの因緣でせうから』と涙を流して

▲双方抱合 ひて容易に離れざりしを會葬者が漸く双方を引分けたる由なるが此有樣を見たる母しようも亦嫁愛子の心根の美しきと一方うめの懺悔に同情し貰ひ泣したりと此結果母しようも妻愛子も親戚同意の上今後うめと妻愛子とは義姉妹として佐藤家に置き其中に良緣あらばうめを

▲他に緣附 かしむる事となし目下其筋に拘禁され居る主人九平の歸宅を待つて同意を求むるまでに進み居れる由又た佐藤家の知人は實子を端しなくも撲ち殺したる父九平に對し可成的寬大なる處分を請ふ事に決し町内及び知人の同情者百數十名の同意調印を得て十六日大邱地方法院檢事局に嘆願書を提出したり(大邱)

●漱石氏追悼會
參會者を歡迎す

故漱石氏の百箇日追悼會は十八日午後一時より若草町曹洞宗別院に於て既報の順により執行さるべし明治大正を通せる此の文人の遺品數十點と關係深き人士の漱石氏追悼演說は參拜者の何人も之れを聞き之れを觀るを得べく主催者等は多數の參會を望み居れり

○西本願寺彼岸會 十八日より毎日午前十時午後一時及び同七時より彼岸會說敎あり二十一日には[illegible]

商業登記公告

商號新設 商號 三幸洋行、營業ノ種類 材木販賣並土木建築請負、營業所 京城府岡崎町七拾番地、商號使用者ノ氏名住所 同所 山名松太郎
右大正六年參月拾五日登記

左記ノ者大正六年參月五日合名會社石崎商店ノ社員トシテ入社シタリ
支那安東縣市場通貳丁目貳番地 金壹萬圓 石崎甚吉
株式會社百三十銀行ハ大正五年七月貳拾八日目的ヲ『銀行營業及擔保附社債信託法ニ依ル信託業兼營』ト變更シタリ
右大正六年參月拾六日登記

京城地方法院

一、朝鮮紙 參拾參萬枚
右購買ス詳細ハ大正六年三月十七日以降ノ朝鮮總督府官報ニアリ
朝鮮總督府臨時土地調査局

內地人生徒募集
本校內地人生徒二十名募集ス志願者ハ三月末日限リ入學願書ヲ提出スベシ詳細ハ二月一日以後ノ官報又ハ直接本校ニ就キ承合スベシ
尙朝鮮人五十名募集ス
全州公立農業學校

看護婦生徒募集
日本赤十字社朝鮮本部ニ於テ今般左記ノ通看護婦生徒募集ス
一、入學資格 滿十六年以上二十五年以下ニシテ高等小學卒業ノ者又ハ之ト同等以上ノ學力ヲ有スルモノ
但シ定員超過ノ場合ハ試驗ノ上採用ス
一、出願期限 四月七日限リ
本規則、入學願書用紙(願書ニハ戶籍謄本添付ヲ要ス)入用ノ向ハ直接本部ニ出頭承合又ハ郵券(貳錢)封入照會セラルベシ
京城南山町三丁目
日本赤十字社朝鮮本部(電話二六一八番)

簿記生徒募集
六ケ月卒業卒業後ハ銀行、會社、商店等ヘ確實ニ就職照介ス規則書要二錢
京城明治町
京城簿記專修學校

競賣廣告
本月二十日午後三時より本商店前に於て故圓來物理氏所有の南大門外蓮花峰所在家屋及基址共六千三百卅坪を競賣仕候猶同邸は土地高燥にして眺望絶佳且つ桃櫻柿等多數の果樹有之候御來臨の上御買上の程奉懇願候
大正六年三月
京城太平町一丁目 加比老商店敬白

水銀(保税品有) **青酸加里**
京城本町二丁目 釘本藤次郎本店 電話四二・二七・七四 振替京城二五六

最新刊

書名	著者	定價
◎大正六年一月一日現在 鮮滿一覽 附朝鮮實業者住所姓名及朝鮮鑛產地一覽	鈴木穗次郎	六〇
◎宗演禪話	釋宗演	九〇
◎一喝禪	中原鄧州	九〇
◎禪窓閑話	菅原時保	九〇
◎悟道の妙味	釋宗活	九〇
◎徹底禪	秋野孝道	九〇
◎無我の生活	新井石禪	九〇
◎默仙禪話	日置默仙	一、二〇
◎獅子吼	石川素童	一、三〇
◎教育年鑑	帝國教育會編纂	四八〇
◎債權者の活顧問	商井房堂	持八五
◎基本練習用諸體かな帖	高村不老	四〇
◎明暗	夏目漱石遺著	二、五〇
◎自我を超えて	野村隈畔	一、〇〇
◎手形法要論	本田吉藏	六〇
◎誰にも出來る經濟の取方 附上品な内職	鑑谷茅子	六〇
◎男女うちあけ話	浮世山人	四五
◎奇技な廣告と成功した實例	佐々木	八五
◎朝鮮總督府巡査試驗提要	永野清	持四五

大阪屋號書店 京城本町一丁目 電話六〇六 振替京城二五七三番

京日案內
普通 一回前金五十錢 番外 一回前金一圓(但名一回毎に拾錢増し)
▲申込後中途廢止の節は料金返戻せず ▲六回以上の御申込は特に割引 ▲御照會の節は返信料にあらざれば回答せず ▲御記入の節は必ず數字の番號御記入を乞ふ

普通
◎新鮮鷄卵 毎日配達す ウミタテ 電話申込は二九四五番へ 旭町一ノ六三 鈴木鷄舍 698
◎見習看護婦二名募集 午後本人來談を要す 中村耳鼻咽喉科醫院 693
▼古教科書▼參考書類此際高價買入 本町 ウツボヤ書店 電二五二七 692
意志と身體と健全にして不過路頭に迷ふ不幸の人は來れ▼ 京釜線鷺梁津 荒井德一 682
◎金融 官公吏教師へ極秘手輕信用貸御相談又は御來談 京城本町五丁目電車終點 大和屋質店 688

番外
防寒 襦袢 靴下 手套 多數有之御用命願上候 京城府漢江通 電話長三三六 佐藤古着店 697
恩給年金 退隱料扶助料 即時立替 證書確實保管 京城吉野町一ノ六九 電車停留場約二丁半上(元仲之新地入口前) 俵屋 613
解傭廣告 店員 小關賴一 右者不都合ノ廉有之解傭致候間爾今當店ト一切關係無之候此段廣告す 三月十七日 黄金町一 三巳商會 695
店員採用 記帳並に酒類販賣に經驗ある者年齡二十五六歲前後希望者は履歷書及希望の給料を認め申込むべし 京城日報社廣告部 696
恩給年金立替 即時取引 利子極安 短期無保險 京城若草町一〇一(金光教裏手) 電話二三九一番 國江商會 616
◎礦物定量分析 太平町二丁目二二五 電話長三四四 朝鮮公論社左橫小路 坂元分析所 681

怒濤の月

小林蹴月作　武内桂舟畫

百十

袖の涙 『二十』の五

何様、お艶の言ふ通り、犬の男二人揃つても三人揃つても、當面の理屈には勝てない。然らばと云つて、此の儘絹代をお艶に連れさせて遣つて了へば、見す〳〵彼女を生きながら地獄へ突き墜すやうなものである。絹代の性格として、乾度無事に生きて居る氣遣ひはあるまい。若し生きて居ると爲ても、精神的に死んで了ふのは必定で、その時は最早今日までの絹代ではないのである。我が可憐なる清浄貞淑たる絹代ではないのである。――百圓の金が欲しい、人間只ツた百圓足らずの端た金で、

一匹の命が救へるのに、その百圓はおろか十圓の金もないとは、何たる意久地のない話であらう――幸三郎は、自轡を踏みたいほどに口惜しく思つたが、奈何とも仕様がなかつた。村山も、矢張同様の事を考へて居るのであつたが、それでも舌の根の續かん限りは、抱へ主のお艶を説破して見るより外はないと思つた。『お主婦さん、一々御道理ですが、實は御覧の通り、我々は今旅行先から上野の停車場へ歸り著いたばかりなので、まだ各々の宅へ行く遑もなしに此處へ遣つて來たんぢやから、金の用意も何にも爲てはないです。今夜一晩丈、その女を客に出すのを猶豫して下さる事が出來れば、明日の午前中には、必ず……乾度お前さんが要求する丈の金額を調達へて來ますから……情願然うして遣つて下さい。お前さん方も、商賣には違ひないでせうが、良人のある女に對して、無理に貞操を破らせると云ふのも穴勝本意ぢやありますまい』を串うしてお艶に賴んだ。村山の語につゞいて、幸三郎も『本統に拗い人達ツたらありや爲ないね。そんなお説教を聞いてる間に夜が明けて了ふわ』お艶は、もう耳に掛けやうとも爲ないのである。絹代の手を取つて、すた〳〵と六疊の方へ歩きかけると、襲の原口さやら云ふ學生體は、餘りの待ち遠しさに堪へかねてか、蹂歩踏蹴として、此の家の前まで引返して來た所であつた。『おい、お艶さん、絹ちやんを連れて來ると言ふから、僕はちやんとお誂へ物を爲て待つて居るのに、何時まで經つても來はせんぢやないか。僕も今夜は先を急ぐ事があるから、御免を蒙るよ』無論原口は、大不平の體である。『まあ、原口さん、勘忍して下さいよ。實は今絹ちやんを連れて、出掛けやうと爲る處へ、飛んでもねい油蟲のお客が舞ひ込んで來たもんですからね、揉つた揉んだの悶著を爲て居た所なのよ。もう埒が明きましたから、今度こそは御一緒にお供しますわ』『なに、油蟲のお客が舞ひ込んで來た? 油蟲のお客ツて一體どんな代物なんかね』今を生意氣盛りの原口は、止せば好い事に、品に依つたら議論の仲裁でも爲てやろ了簡か何かで、故意に横柄な顔を爲ながら、村山と幸三郎の眞中へ割り込んで入つたのである。その顔をちらと一目、眞正面から睨んだ村山一雄は、御神燈も震へ落ちるほどの大聲を發して、突然に『馬鹿野郎ッ』と叫んだ。原口は、流行に張手と爲ならば眼を剝いだが、村山の顔を見定むると同時に、唖然として尻餅を搗かねばかりであつた。『おい、原口、貴様はまだ放蕩を止めんのぢやの。つい先達ても、既に學校を退校されさうになつた所を、漸く聲が舊知の教員に賴んで、辛うじて穩便に濟まして貰つたばかりぢやないか。その時、貴様は吾輩に向つて何と言ふた。よもやまだ忘れは爲んぢやらう。今後再び豚醜なんかへ足を踏み込むやうな事があつたら、保證人たる貴方の手から、學校の方へ退校を御請求下さつても、毛頭お怨みは申しません、又國許の兩親へ今日までの不始末を逐一御通知下さつても差支へないと言ふたに違ひあるまい。貴様、今日までの首は、誰の爲めに繋がつて居つたと思ふんぢや。不都合にも程がある』『村山さん、何とも……』墮落學生の原口は、ぎゆツの音も出し得ずに、眞蒼になつて顔へ上つたのである。

寫眞 四割引　明治町東拓手前　取次電二五三五　大城寫眞館

毛皮なめし 並に仕立
鳥獸剝製調進販賣　鳥毛類高價買入れ
萬毛皮　鳥羽毛類　鳥獸剝製標本
京城本町二丁目　樽元商行　電話長二〇六五番　振替京城三四九九番

海外片々

▲テニスコートを畑に　英國總理大臣ロイドジョージ氏はウエルスのカルナヴオン洲に瀟洒な住宅を有つて居るが近頃其のテニスコートを掘り返して居る是は野菜類の栽培をやるのだといふ

▲獨帝の彫刻物公開　カイゼルは近頃ヴイルヘルムシエ城内に秘藏せる夫の有名なる彫刻物を同城繪畫陳列室に遷して公衆の觀覽を許した其員數九千の多きに達し概ね十六七八世紀間に於ける蘭、佛、伊の諸大家の作ださうな

▲獨帝と決闘　フオルブス、シオヴオーチング氏は倫敦の王室歴史學會で『決闘と尚武主義』と題して一場の演説を試み獨逸では勇氣を鼓舞する爲めに決闘を許してあると云つた之に對し氏の友人で愛蘭ダブリン市の神學校長マハフイ博士曰く『獨帝は勇氣を養ふには決闘と限ると婦人に關しての爭ひを法律に依つて決定するのは不公平であると云つた事がある是でも獨帝の蠻勇を愛するを察するに餘りあり』と

▲露獨兵の狼狩　波蘭の戰地では飢ゑたる狼軍の跳梁することが此冬は殊に甚しい所から敵味方とも相談して狼狩をやることになり其一例で或る日のこと露獨兩軍より出した斥候隊が途中でハタと出會したからたまらない茲に兩斥候隊の間に激烈なる戰鬪が演ぜられた折りしもあれ何處よりともなく俄に狼の大群が現はれて負傷兵に襲ひかゝるのであつたこうなると兩斥候隊も戰どころではなくなつて來たから何方から云ひ出すともなく戰ひを中止し此共同の敵を攻撃に力を合せて約五十頭の狼を斃すことを得た狼狩が濟むと兩斥候隊は其儘別れて其れ〳〵味方の塹壕へと引返して了つた

新刊紹介

▲是ても武士か（アーサー、ロバートソン、スコット著）英、佛、白、各國の調査委員會報告書、公報、命令及び自國新聞の日誌、日記書簡等數十種の證據を參考の材料を基礎として今次の大戰に於て獨逸が永世中立國たる白耳義に加へたる不法極まる殘虐行爲及び[illegible]人に對する凌辱其他陰惡非道なる野蠻的行爲を[illegible]として一々事實に就て公平なる[illegible]して以て訴へたる公平なる[illegible]著なり[illegible]

▲圖書通信月報（二月號）（非賣品　東京市日本橋區通三丁目丸善株式會社）

▲小學生（三月號）（八錢　東京府澁谷東工ス文教社）

▲隨聞集（二月號）（二十五錢　東京府豐多摩郡千駄谷町五二四共吟社）

▲學校組合管理者に對する道長官指示　忠淸南道

▲學校組合管理者に對する道長官注意事項　忠淸南道

▲花筏（九）（價不詳　釜山富平町一共會）

▲一大帝國『寺内々閣彈劾號』（十六錢　東京市芝區琴平町二共社）

▲電氣旬報（九三）（大阪市東區若松町二六電界社）

▲新刊圖書雜誌月報（二月號）（五錢　東京市神田區表神保町三東京堂）

▲極東時報（一五）（十八錢　東京市京橋區築地明石町三二共社）

▲ミツワ文庫（三月號）（十錢　東京市日本橋區丸見屋商店）

▲園技（二月號）（十五錢　東京市本所區横網町一の一七相技通信社）

▲正則中學講義錄（四學年の二）（定價廿五錢　東京市神田區駿河臺袋町大日本國民中學會）

▲簿記世界（二月號）（十錢　東京市神田區美土代町二の一簿記學研究會）

▲ザ、イングリツシ、タイムス（一の一二）（十二錢　東京市芝區南佐久間町一の一英語精習社）

▲流行（三月號）（東京日本橋區白木屋呉服店）

▲海紅（三月號）（二十四錢　東京市下谷區上根岸七四共社）

▲日本農業雜誌（三月號）（十五錢　東京市赤坂區青山南町六の八三共社）

▲家庭の友（三月號）（十三錢　東京市本郷區千駄木町四九四方堂）

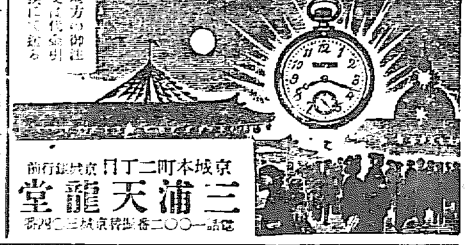
▲新國民（三月號）（十五錢　東京市神田區駿河臺袋町一六大日本國民中學會）

▲勞働及び産業（三月號）（十五錢　東京市芝區三田四國町二友愛會本部）

▲健全之日本（三月號）（十五錢　東京市神田區小川町四九共社）

▲大阪朝鮮貿易商報（一四八）（五錢　大阪市西區北堀江裏通一の四共社）

時計貴金屬指輪眼鏡商



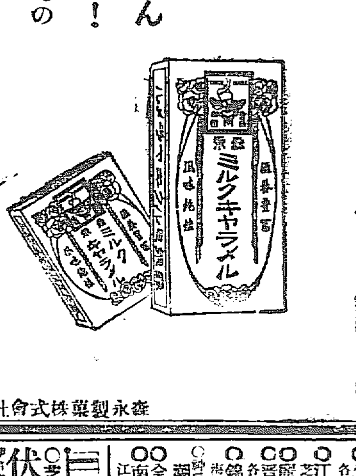
地方の御注文は代金引換にて送る
京城本町二丁目　京城銀行前　三浦天龍堂　電話一〇〇二番　振替京城二〇四番

第十期營業報告

貸借對照表（大正六年二月末日）
[illegible]
損益計算書
[illegible]
利益金處分
[illegible]
右之通り候也
大正六年三月
京城府旭町二丁目　朝鮮勸農株式會社

花と蔬菜
目録進呈
株式會社大正園
兵庫縣西宮町
蔬菜種子　菊、朝顔、ダリヤ

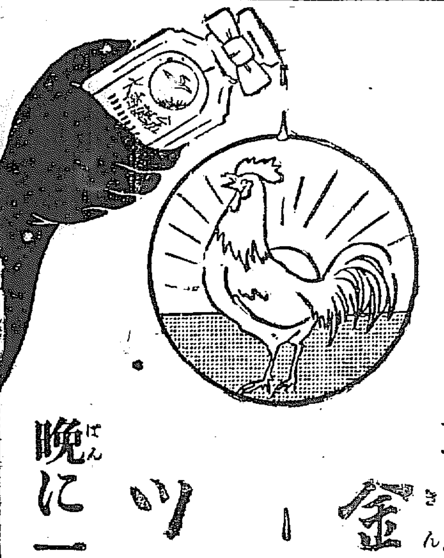
試驗！
吾に於て何かあらん
頭腦の明晰！元氣の横溢！
見よ是れ本品常用の賜もの
森永ミルクキヤラメル
煙草代用



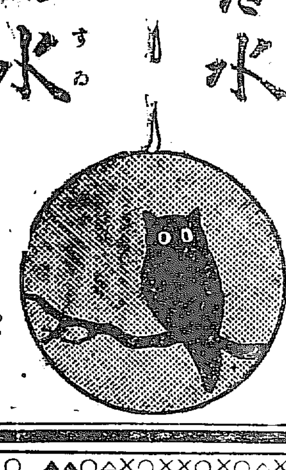
6―7　森永製菓株式會社

一家の經濟に　アルボース

の如き徳用品なきは何人も知るところ也
使かしの流し水で下水はき溜の消毒と臭氣止めにも役立つなり
怪我其他の應急に備へよ



朝に一滴　金鶴香水
ツル香水
晩に一滴
心氣　爽快



東京醫科大學教授　醫學博士　高橋順太郎氏　創製
■諸博士實驗報告集無料進呈
結核性疾患肉腫新藥　ファゴール
ファゴールは最も効果ある結核性疾患治療劑として學界の公認を得たるもの也
定價貳拾五瓦入金壹圓四拾五錢、參瓦百瓦入金參圓六拾錢、其他大瓶數種あり▲全國著名藥舗に販賣す▲無き時は直接御注文を乞ふ
東京日本橋區本町四丁目　一手販賣元　友田合資會社　振替東京一九三八番
大阪　西村約店　兵庫　長田武兵衛

袖珍　府及學校組合法規提要
宇佐美内務部長閣下題字　小原地方局長閣下序文　京城日報社編纂
內容
勅令、制令、府令、訓令、通牒等苟も府制及學校組合に關係ある法規は網羅して漏さず就中告示に依るものまでも収めたるを以て府及學校組合には固より内地人各學校教員、組合會議員其他關係者に取りては座右必備の良參考書たるは言を俟たざる所也
大賣捌元　京城太平通三丁目　振替京城三〇〇番
裝幀
携帯に便ならしめんため製本を袖珍とし紙數は三百餘頁總洋布天金製本文字入りの頗る美本なるに加へ殊に改正法規は他必要事項の記入に便せんが爲め每頁の上部に一寸五分の餘白を設け更らに告末に十數頁の白紙を綴込みて備忘要欄に供したるが如き以て本書編纂上における用意の一端を窺ふに足る
▲定價金壹圓廿錢　送料本社負擔
京城日報社代理部

朝鮮郵船 出帆

本社 電話長一九五二番（二三一番）
京城府南大門通五丁目　京城支店
門司より釜山各港寄港基隆間航路

○全羅丸　○京畿丸　○黄海丸　○咸鏡丸　三月廿六日　三月三十日　三月二十日　三月廿一日　釜山發

○慶尚丸　○昌平丸　○鏡城丸　三月廿三日　三月二十日　三月十八日　元山發
元山より各港經由浦鹽基行

○昌平丸　三月十九日　元山發
咸鏡南北各港經由行

○德丸　三月　日　釜山發
甘浦、九龍浦、浦項各港寄港慶尚南行

○江陵丸　○襄陽丸　每日　釜山發　浦項發
長生浦方魚津寄港

○三浦丸　三月十九日　釜山發
長承浦、麗水、巨文島、濟州島各寄港

○海州丸　○統營丸　○巨濟丸　○慶寶丸　每日　釜山發
各港寄港

○平壤丸　○忠清丸　三月廿三日　四月六日　元山發

○順天丸　三月十八日　木浦發

○慶興丸　三月十八日　木浦發

○慶興丸　三月廿四日　木浦發
南多島、有列島行

○公州丸　三月　日　木浦發

○江原丸　三月十九日　仁川發
芝罘、大連、青島行

○麗水丸　○晉州丸　三月廿四日　三月十八日　仁川發
各港經由木浦行

○錦江丸　三月　日　仁川發
南川池各港經由海州行

○湖州丸　月　日正午出帆
神戸、大阪行

○全州丸　○南陽丸　每日午前　仁川發
江華島、喬桐島、海州行

共同汽船 仁川出帆

伏見丸　三月十九日午後入港　三月廿一日正午出帆
○芝罘、大連行
阿波共同汽船株式會社
仁川代理店　本町四丁目（電話一七三番）野口商會
元山代理店　田口回漕部
京城取次店　河村運送店

大阪商船 仁川出帆

○群山、木浦、釜山、關門、神阪行　湾州丸　三月十八日
○鎮南浦行　天智丸　三月廿二日後五時出帆
山陽丸　三月廿四日
○群山、釜山、門司、神戸、大阪行　汕頭丸　日後五時出帆
湾州丸　三月
○木浦、釜山、鄕原、鄕の浦、長崎行　安東丸　三月廿七日後二時出帆
安東丸　四月十四日
○群山、釜山、横濱行　福州丸　三月廿二日後二時出帆
潮州丸　四月一日
○群山、神戸、大阪行　天智丸　月　日後五時出帆
○鎮南浦、大連行　安東丸　三月廿一日後二時出帆
安東丸　四月九日
○大連直航　福州丸　四月九日　正午出帆
潮州丸　三月廿六日
○清津、浦潮行（元山出帆）　印城津、西湖津ニ寄港浦潮不寄港　安平丸　四月三日後十二時出帆
宮島丸　三月廿一日
○上海、基隆、打狗行（大連出帆）　湖北丸　四月十五日前六時出帆
基隆丸　三月廿九日後四時出帆
御注意　●印鐵道及南満州鐵道と連絡切符發賣仕候●印は御乘船客は本船出帆約一時間前無賃送迎可致候×印は船客御斷り△印は船客御斷り
切符發賣所　大阪商船會社仁川支店　電話二一二〇番
切符發賣所　内國通運會社京城支店　電話二五〇番

▲依然強硬
▲④能く賣る
▲⑪大に買ふ
大阪期米
十七日の五月限　十三圓二十九錢　十三圓二十六錢
賣買取組高
三月限　二萬八千三百五十石
四月限　七萬五千九百五十石
五月限　五萬三千九百五十石